

# 消防年報

令和6年



緊急消防援助隊岐阜県大隊(羽島51号車)

## 羽島市消防本部

令和7年刊行

# は じ め に

この消防年報は、令和6年中の羽島市における主な消防事務と消防力の現勢を示す統計資料を収録し、今後の消防行政の資料にするとともに広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、本書中、予算関係事項は会計年度を調査対象としました。

また、表中の「-」、「 」(空白)は該当数値がないもの又は皆無のものを、「0」は表章単位に満たないものを表しています。

令和7年3月



# 一目でわかる羽島消防

<p>人 口</p>  <p>66, 503人</p>	<p>面 積</p>  <p>53. 66km<sup>2</sup></p>	<p>世 帯 数</p>  <p>28, 334世帯</p>
<p>署 所</p>  <p>1本部1署2分署</p>	<p>消防職員</p>  <p>83人</p>	<p>平均年齢</p>  <p>42. 0歳</p>
<p>防火対象物</p>  <p>2, 389棟</p>	<p>危険物施設</p>  <p>145施設</p>	<p>消防水利</p>  <p>消火栓 1, 119基 防火水槽 235基</p>
<p>火 災</p>  <p>23件</p>	<p>救 急</p>  <p>3, 293件</p>	<p>消防団員</p>  <p>395人</p>

# 目 次

市 勢	1
消防のあゆみ	2
歴代管理者・消防長・消防署長・消防団長	12

## 消 防 情 勢

施設の現勢	15
消防機関の配置図	18
消防組織図	19
事務分掌	20
消防予算・消防予算の状況・消防費内訳表	22
一般会計予算に占める消防予算(当初)、消防費予算の推移、消防手当支給状況	23
消防職員の配置状況	24
年齢別消防職員数	25
在職年数別消防職員数	26
消防職員の推移、消防職員数の状況、消防職員の公務災害発生件数の推移	27
消防職員教養状況	28
消防職員の資格等保有状況	29
消防力の整備指針と現有消防力の比較	30
消防車両一覧表	31
消防水利の現況	32
消防相互応援協定	33
消防機関の出動状況	34

## 予 防 ・ 危 険 物

防火対象物現況・立入検査状況	35
用途別中高層建築物現況	36
用途別消防同意状況	37
工事別消防同意件数、構造別消防同意件数	38
用途地域別消防同意件数	39
火災予防に関する届出状況	40
危険物施設現況	41
危険物施設立入検査状況、危険物施設許可・完成検査等状況	42
消防訓練指導状況	43

## 火 災 統 計

火災の概況	44
時間別火災状況、時間別火災件数、区域別火災状況	45
月別火災状況、月別火災原因状況	46
年別火災状況	47
年別火災最大被害状況	48
過去10年間の火災による死傷者状況	49

## 救 急 統 計

救急活動の概要、事故種別救急出場件数・搬送人員、事故種別救急出場件数	50
月別救急出場件数、曜日別救急出場件数	51
時間別救急出場件数、高速道路救急出場件数	52
管轄別救急出場件数、区域別救急出場件数	53
5年間の救急状況、救命講習受講状況	54

## 救 助 統 計

救助活動概要、救助件数等状況、事故種別救助出動件数の割合	55
事故種別発生場所別活動件数、事故種別発生場所別救助人数	56
区域別出動件数、5年間の救助状況	57
救助活動のための機械器具等保有状況	58

## 通 信 ・ 気 象

通信指令施設	59
無線設備の現況、通信設備の現況、月別気象状況	60
119番通報件数	61

## 消 防 団

消防団の現況、消防団現勢	62
消防団ポンプ等の配置図	63
消防団車両一覧表	64
年齢別消防団員数	65
在職年数別消防団員数	66
消防団員報酬、消防団員出動報酬、消防団員退職報償金	67
消防団員の入・退団の推移	68
消防団員公務災害発生件数の推移、消防団員出動状況	69

# 市 勢

## 概 況

位 置	東 經 136° 42' 20" 北 緯 35° 18' 58"
海 拔	6.96m
広 袤	東西 8.77km 南北 12.86km
面 積	53.66Km <sup>2</sup>
人 口	66,503人 (12月31日現在)
世 帯 数	28,334世帯 (12月31日現在)
市 制 施 行 年 月 日	昭 和 29 年 4 月 1 日
消 防 本 部 設 置 年 月 日	昭 和 40 年 1 月 1 日



## 消 防 の あ ゆ み

- 昭和29年 4月 1日 羽島郡南部1町9村が合併した羽島市誕生に伴い消防団10団、団員853人をもって発足
- 昭和31年 4月 1日 消防団機構改革により、羽島市消防団1団10分団、団員539人に減員  
初代 消防団長 春日井常吉氏就任  
装備 消防ポンプ自動車 11台  
小型動力ポンプ 15台  
手引動力ポンプ 4台
- 昭和31年 4月 2日 三輪消防ポンプ自動車マツダ1台購入、小熊分団へ配備
- 昭和31年10月29日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、竹鼻分団へ配備
- 昭和31年11月24日 三輪消防ポンプ自動車マツダ1台購入、下中分団へ配備
- 昭和33年11月28日 三輪消防ポンプ自動車1台購入、堀津分団へ配備
- 昭和35年10月 5日 三輪消防ポンプ自動車マツダ1台購入、福寿分団へ配備
- 昭和37年11月 1日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、桑原分団へ配備
- 昭和37年11月30日 初代 消防団長 春日井常吉氏退任
- 昭和37年12月 1日 二代 消防団長 岡田幸逸氏就任
- 昭和38年 7月 1日 常備消防設立のため準備事務局を設置
- 昭和38年11月 1日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入
- 昭和39年 2月 1日 昭和39年政令第16号「消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める等の政令」により指定を受ける
- 昭和39年 8月10日 常備消防職員7人採用
- 昭和39年11月30日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、下中分団へ配備
- 昭和39年12月10日 水槽付消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、市常備消防本部へ配備
- 昭和40年 1月 1日 市役所消防事務室ならびに車庫を仮庁舎として消防長以下11人をもって消防本部ならびに消防署発足  
消防長 河村忠一市長兼任  
消防職員定数35人
- 昭和40年 1月 9日 消防職員6人採用、合計17人
- 昭和40年 3月 竹鼻町55番地に消防庁舎建設着工
- 昭和40年 8月28日 消防庁舎竣工式  
羽島ライオンズクラブから救急車ニッサンセドリック1台寄贈、救急業務開始
- 昭和42年 2月 4日 消防職員1人採用、合計18人
- 昭和42年 4月 1日 消防職員2人採用、合計20人
- 昭和42年 6月 1日 消防職員3人採用、合計23人

昭和42年 9月12日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、消防署へ配備

昭和42年10月20日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、小熊分団へ配備

昭和42年12月21日 消防職員1人死去、合計22人

昭和43年 4月 1日 消防職員4人採用、合計26人

昭和43年 7月 1日 消防職員3人採用、合計29人

昭和43年 7月27日 消防ポンプ自動車いすゞ1台購入、竹鼻分団へ配備

昭和43年 8月 5日 消防指揮車ニッサングロリア1台購入、消防署へ配備

昭和43年 9月 1日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、上中分団へ配備

昭和44年 4月 1日 市連合婦人防火クラブ発足

昭和45年 3月31日 二代 消防団長 岡田幸逸氏退任

昭和45年 4月 1日 三代 消防団長 青山彦太郎氏就任

昭和45年 8月 5日 消防職員1人退職、合計28人

昭和45年 9月 1日 消防職員1人採用、合計29人

昭和45年 9月 4日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、堀津分団へ配備

昭和45年 9月11日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、竹鼻分団へ配備

昭和45年11月 1日 消防職員1人採用、合計30人

昭和46年 4月 7日 市危険物安全協会発足

昭和46年 6月 1日 消防職員1人採用、合計31人

昭和46年 7月 1日 消防職員1人退職、合計30人

昭和46年 7月25日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、福寿分団へ配備

昭和46年12月25日 消防職員定数50人

昭和47年 4月 1日 消防職員2人採用、合計32人

消防団機構改革により羽島市消防団1団11分団、365人に減員

昭和47年 6月 2日 消防職員1人採用、合計33人

昭和47年 6月15日 消防職員1人退職、合計32人

昭和47年 9月 1日 消防職員1人採用、合計33人

昭和47年10月 1日 初代 消防長 大島庄一氏就任

昭和47年11月28日 水槽付消防ポンプ自動車いすゞ1台購入、消防署へ配備

昭和48年 1月10日 屈折はしご付消防ポンプ自動車(16m級)いすゞ1台購入、消防署へ配備

昭和48年 2月 1日 消防職員1人採用、合計34人

昭和48年 3月31日 初代 消防長 大島庄一氏退任、退職

昭和48年 4月 1日 消防職員3人採用、合計37人

昭和48年 4月18日 二代 消防長 太田万佐生氏就任

昭和48年 6月30日 消防職員1人退職、合計36人

昭和48年 9月10日 (財)日本消防協会から救急車トヨタハイエース1台寄贈、消防署へ配備

昭和48年10月11日 (社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈、消防署へ配備

昭和48年10月25日 竹鼻町1258番地に消防庁舎新築着工

昭和49年 3月30日 (社)日本損害保険協会から救急車ニッサンシビリアン1台寄贈、消防署へ配備

昭和49年 4月 1日 消防職員5人採用、合計41人

昭和49年 6月25日 消防庁舎竣工

昭和49年 6月30日 消防職員1人退職、合計40人

昭和49年 8月 1日 消防職員4人採用、合計44人

昭和49年12月10日 消防職員1人採用、合計45人

昭和50年 1月31日 消防職員1人退職、合計44人

昭和50年 3月19日 長良川病院から広報車コロナバン1台寄贈、消防署へ配備

昭和50年 3月31日 二代 消防長 太田万佐生氏退任、退職

昭和50年 7月 1日 三代 消防長 浅井建司氏就任  
消防職員2人採用、合計46人

昭和50年 7月15日 消防職員1人採用、合計47人

昭和51年 3月31日 三代 消防団長 青山彦太郎氏退任

昭和51年 4月 1日 四代 消防団長 馬場弘一氏就任

昭和51年 7月31日 消防職員1人退職、合計46人

昭和51年 9月 1日 消防職員2人採用、合計48人

昭和51年 9月16日 消防職員1人採用、合計49人

昭和51年12月 2日 消防職員1人採用、合計50人

昭和52年 2月25日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、消防署へ配備

昭和52年 3月 4日 消防職員1人退職、合計49人

昭和52年 3月26日 区画整理事業により消防本部の位置を竹鼻町丸の内9丁目26番地に改める

昭和52年 8月 1日 消防職員1人採用、合計50人

昭和52年10月30日 長谷虎紡績(株)から指揮車トヨタクラウンバン寄贈、消防署へ配備  
消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、桑原分団へ配備

昭和53年 1月20日 消防職員1人退職、合計49人

昭和53年 2月 1日 消防職員1人採用、合計50人

昭和53年 3月31日 四代 消防団長 馬場弘一氏退任

昭和53年 4月 1日 五代 消防団長 大橋実夫氏就任

昭和53年 9月24日 市消防友の会発足

昭和53年10月25日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、江吉良分団へ配備

昭和54年 9月 4日 市防災行政無線設置

昭和54年10月20日 救助工作車ヒノ1台購入、消防署へ配備

昭和54年10月23日 市消防団らっぱ隊結成、隊員30人

昭和54年11月30日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、竹鼻第二分団へ配備

昭和55年 4月 1日 人事異動により消防職員、合計49人

昭和55年11月11日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、下中分団へ配備

昭和56年 3月23日 消防職員1人退職、合計48人  
 昭和56年 3月31日 三代 消防長 浅井建司氏退任、退職  
 昭和56年 4月 1日 四代 消防長 大橋数実氏就任  
 昭和56年 6月 1日 査察車スズキ1台購入、消防署へ配備  
 昭和56年 9月29日 消防職員定数66人  
 昭和56年11月10日 消防ポンプ自動車トヨタ2台購入、足近分団、正木分団へ配備  
 昭和56年12月 3日 消防職員1人死去、合計47人  
 昭和56年12月23日 化学消防ポンプ自動車ヒノ1台購入、消防署へ配備  
 昭和57年 4月 1日 消防職員5人採用、合計52人  
 市少年婦人防火委員会発足  
 昭和57年 7月15日 小型動力ポンプ積載車1台購入、消防署へ配備  
 昭和57年 8月 8日 第31回岐阜県消防操法大会、市消防団優勝  
 昭和57年 8月 9日 (財)日本消防協会から救急車ニッサンキャラバン1台寄贈、消防署へ配備  
 昭和57年 8月23日 (財)日本消防協会から婦人消防隊軽可搬ポンプ1台寄贈  
 昭和57年10月14日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、小熊分団へ配備  
 昭和57年11月29日 水槽付消防ポンプ自動車ヒノ1台購入、消防署へ配備  
 昭和58年 1月26日 消防職員1人死去、合計51人  
 昭和58年 3月31日 五代 消防団長 大橋実夫氏退任  
 昭和58年 4月 1日 六代 消防団長 大島喜三郎氏就任  
 羽島消防署分署、分署長以下9人をもって発足  
 羽島市消防救急救助隊設置  
 羽島消防署長補佐(財)日本消防協会、2年研修派遣  
 消防職員4人採用、人事異動により、合計57人  
 昭和58年 7月30日 岐阜乗合自動車(株)から救急車ニッサンキャラバン1台寄贈、消防署へ配備  
 昭和58年 8月 5日 指揮車トヨタクラウンバン1台購入、分署へ配備  
 昭和58年 8月10日 羽島市消防友の会旗制定  
 昭和58年10月26日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、上中分団へ配備  
 昭和58年10月28日 (社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車トヨタ1台寄贈、分署へ配備  
 昭和58年11月18日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、消防署へ配備  
 現場指揮車製作、消防署へ配備  
 昭和59年 3月31日 消防職員1人退職、合計56人  
 昭和59年 4月 1日 消防職員3人採用、合計59人  
 昭和59年 8月23日 (財)日本消防協会から電源照明用資器材搬送車ニッサン1台寄贈、消防署へ  
 配備  
 昭和59年10月23日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第一分団、堀津分団へ配備  
 昭和59年12月 6日 (財)日本防火協会から防火広報車トヨタ1台寄贈、消防署へ配備  
 昭和60年 3月31日 四代 消防長 大橋数実氏退任、退職

六代 消防団長 大島喜三郎氏退任  
 昭和60年 4月 1日 五代 消防長 岩田秀一氏就任  
 七代 消防団長 安藤栄吉氏就任  
 消防職員3人採用、人事異動により、合計60人  
 昭和60年10月12日 消防ポンプ自動車ニッサン2台購入、竹鼻第一分団、福寿分団へ配備  
 昭和60年11月 5日 水槽付消防ポンプ自動車ヒノ1台購入、消防署へ配備  
 昭和61年 3月31日 消防職員3人退職、合計57人  
 昭和61年 4月 1日 消防職員3人採用、合計60人  
 昭和61年 6月19日 日興製薬(株)から広報車ニッサンブルーバードバン1台寄贈、消防署へ配備  
 昭和61年 6月30日 救助隊潜水班設置  
 昭和62年 2月26日 防火指導車トヨタ1台購入、消防署へ配備  
 昭和62年 3月17日 救急自動車トヨタハイエース1台購入、消防署へ配備  
 昭和62年 3月31日 消防職員3人退職、合計57人  
 七代 消防団長 安藤栄吉氏退任  
 昭和62年 4月 1日 消防職員3人採用、合計60人  
 八代 消防団長 藪野芳治氏就任  
 昭和63年 4月 1日 消防職員3人採用、合計63人  
 昭和63年11月28日 救助資器材一式購入  
 平成元年 3月31日 消防職員1人退職、合計62人  
 平成元年 4月 1日 消防職員2人採用、合計64人  
 平成元年 7月24日 消防職員1人死去、合計63人  
 平成 2年 3月31日 消防職員1人退職、合計62人  
 平成 2年 7月10日 消防職員1人退職、合計61人  
 平成 2年10月16日 消防職員1人市施設事業公社市民プールへ派遣、合計60人  
 平成 3年 2月28日 小型動力ポンプ付積載車購入、桑原分団へ配備  
 平成 3年 4月 1日 消防職員4人採用、合計64人  
 平成 3年 7月24日 小型動力ポンプ付積載車購入、正木分団へ配備  
 平成 4年 3月31日 五代 消防長 岩田秀一氏退任、退職  
 八代 消防団長 藪野芳治氏退任  
 平成 4年 4月 1日 六代 消防長 棚瀬博氏就任  
 九代 消防団長 馬場弘三氏就任  
 消防職員3人採用、人事異動により、合計66人  
 平成 4年 9月 2日 小型動力ポンプ付積載車1台購入、福寿分団へ配備  
 平成 5年 3月31日 消防職員1人退職、合計65人  
 平成 5年 4月 1日 消防職員定数85人  
 消防職員4人採用、人事異動により、合計69人  
 平成 5年 8月31日 消防職員1人退職、合計68人

平成 5年 9月11日 小型動力ポンプ付積載車1台購入、小熊分団へ配備  
小型動力ポンプ付積載車2台購入、竹鼻第二分団、上中分団へ配備

平成 5年11月10日 はしご付消防ポンプ自動車(35m級)1台購入、消防署へ配備

平成 5年12月31日 指揮車ダイハツミラ1台購入、分署へ配備

平成 6年 2月24日 現場指揮車1台購入、消防署へ配備

平成 6年 3月31日 九代 消防団長 馬場弘三氏退任

平成 6年 4月 1日 十代 消防団長 安井善保氏就任  
消防職員4人採用、人事異動により、合計73人

平成 6年 4月30日 消防職員1人退職、合計72人

平成 6年 8月26日 羽島市消防本部旗制定

平成 6年 9月 5日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、足近分団、下中分団へ配備

平成 6年11月16日 高規格救急自動車1台購入、消防署へ配備

平成 6年12月15日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、江吉良分団、堀津分団へ配備

平成 6年12月20日 (財)日本消防協会から2B救急車1台寄贈、分署へ配備

平成 7年 1月 8日 高規格救急自動車運用開始

平成 7年 1月17日 阪神・淡路大震災に消防隊を派遣

平成 7年 3月31日 六代 消防長 棚瀬博氏退任、退職  
消防職員1人退職、合計70人

平成 7年 4月 1日 七代 消防長 吉澤壽氏就任  
消防職員8人採用、合計79人

平成 7年10月16日 (社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈

平成 7年10月28日 消防ポンプ自動車1台購入、桑原分団へ配備

平成 7年11月15日 救助工作車1台購入、消防署へ配備

平成 8年 3月31日 七代 消防長 吉澤壽氏退任

平成 8年 4月 1日 八代 消防長 柴田正也氏就任  
消防職員5人採用、合計84人  
羽島消防署北分署、分署長以下13人をもって発足  
羽島消防署分署の名称を羽島消防署南分署とする

平成 8年 7月10日 指揮広報車スズキアルト1台購入、北分署へ配備

平成 8年10月22日 消防ポンプ自動車2台購入、消防署、江吉良分団へ配備

平成 8年12月11日 指揮車ブルーバード1台購入、消防署へ配備

平成 9年 3月31日 消防職員1人退職、合計83人

平成 9年10月28日 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署南分署へ配備  
消防ポンプ自動車1台購入、竹鼻第二分団へ配備

平成10年 3月31日 八代 消防長 柴田正也氏退任、退職

平成10年 4月 1日 九代 消防長 番則良氏就任  
消防職員2人採用、人事異動・人事交流により、合計85人

平成10年 6月23日 消防ポンプ自動車1台購入、下中分団へ配備  
 平成10年 8月 3日 防火指導車トヨタカルディナ1台購入、消防署へ配備  
 平成11年 3月31日 九代 消防長 番則良氏退任、退職  
 十代 消防団長 安井善保氏退任  
 平成11年 4月 1日 十代 消防長 岩田隆雄氏就任  
 十一代 消防団長 岩田浩氏就任  
 平成11年11月29日 2B救急車1台購入、消防署北分署へ配備  
 平成12年 1月28日 消防ポンプ自動車2台購入、足近分団、正木分団へ配備  
 平成12年 4月13日 消防緊急通信指令施設(更新)運用開始  
 平成12年 6月19日 広報車ニッサンエキスパート1台購入、消防署へ配備  
 平成12年12月 8日 消防ポンプ自動車1台購入、小熊分団へ配備  
 平成13年 2月 8日 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配備  
 平成13年 3月31日 十一代 消防団長 岩田浩氏退任  
 消防職員1人退職、合計83人  
 平成13年 4月 1日 十二代 消防団長 大野木真氏就任  
 消防職員1人採用、人事異動・人事交流により、合計84人。  
 平成13年 8月24日 羽島市危険物安全協会から査察車三菱ミニキャブバン寄贈、消防署へ配備  
 平成13年11月18日 消防ポンプ自動車1台購入、上中分団へ配備  
 平成14年 2月12日 化学消防自動車1台購入、消防署へ配備  
 平成14年 3月31日 消防職員1人退職、合計83人  
 平成14年 4月 1日 消防職員2人採用、合計85人  
 平成14年 9月13日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第一分団、堀津分団へ配備  
 平成14年10月31日 消防職員1人退職、合計84人  
 平成15年 7月11日 消防職員1人退職、合計83人  
 平成15年 9月14日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第一分団、福寿分団へ配備  
 平成16年 3月31日 十代 消防長 岩田隆雄氏退任、退職  
 消防職員2人退職、合計80人  
 平成16年 4月 1日 十一代 消防長 加藤清利氏就任  
 消防職員4人採用、人事異動により、合計83人  
 平成17年 3月 8日 災害対応特殊救急自動車1台購入、消防署へ配備  
 平成17年 3月31日 消防職員1人退職、合計82人  
 平成17年 7月28日 資機材搬送自動車1台購入、消防署へ配備  
 平成17年 7月31日 消防職員1人退職、合計81人  
 平成18年 3月27日 消防職員1人退職、合計80人  
 平成18年 4月 1日 消防職員1人採用、合計81人  
 平成19年 4月 1日 消防職員4人採用、合計85人  
 平成19年 8月29日 電源照明自動車1台購入、消防署へ配備

平成20年 3月31日 十一代 消防長 加藤清利氏退任、退職  
消防職員5人退職、合計80人

平成20年 4月 1日 十二代 消防長 小池一郎氏就任  
消防職員3人採用、合計83人

平成20年12月18日 高規格救急自動車1台購入、南分署へ配備

平成21年 1月30日 消防職員1人死去、合計82人

平成21年 3月31日 十二代 消防長 小池一郎氏退任、退職  
消防職員3人退職、合計79人

平成21年 4月 1日 消防長 大野隆弘副市長兼任  
消防職員3人採用、人事異動により、合計81人

平成21年 7月24日 防火広報車 1台購入、消防署へ配備

平成21年10月22日 第19回全国女性消防操法大会において羽島市女性消防隊が優勝

平成21年12月24日 指揮車1台購入、南分署へ配備

平成22年 3月19日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、正木分団、桑原分団へ配備

平成22年 3月31日 消防職員3人退職、合計78人

平成22年 4月 1日 十三代 消防長 大橋照男氏就任  
消防職員4人採用、合計82人  
総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両(多機能車)1台貸与、正木分団へ配備

平成22年 4月 8日 消防職員1人退職、合計81人

平成23年 3月11日 東日本大震災に緊急消防援助隊を派遣

平成23年 3月31日 十三代 消防長 大橋照男氏退任、退職  
消防職員1人退職、合計80人  
十二代 消防団長 大野木真氏退任

平成23年 4月 1日 十四代 消防長 古澤國昭氏就任  
消防職員3人採用、合計83人  
十三代 消防団長 藤本恵司氏就任

平成23年 4月16日 消防職員1人死去、合計82人

平成23年 6月 8日 羽島市危険物安全協会から査察車ダイハツハイゼット寄贈、消防署へ配備

平成24年 2月22日 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入、北分署へ配備

平成24年 3月31日 消防職員2人退職、合計80人

平成24年 4月 1日 消防職員4人採用、合計84人

平成24年 8月 5日 「消防感謝祭」第61回岐阜県消防操法大会(開催地:羽島市)  
市消防団B優勝、市消防団A 3位

平成25年 2月 4日 消防職員1人死去、合計83人

平成25年 2月20日 一般社団法人 日本損害保険協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈  
上中分団へ配備

平成25年 3月31日 小型動力ポンプ付積載車1台購入、福寿分団へ配備  
 十四代 消防長 古澤國昭氏退任、退職  
 消防職員3人退職、合計80人

平成25年 4月 1日 十五代 消防長 日比野典康氏就任  
 消防職員3人採用、合計83人  
 消防救急デジタル無線システム運用開始

平成25年 9月30日 消防職員1人退職、合計82人

平成26年 1月24日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、小熊分団、竹鼻第二分団へ配備

平成26年 2月25日 高規格救急自動車1台購入、北分署へ配備

平成26年 3月31日 消防職員2人退職、合計80人

平成26年 4月 1日 消防職員3人採用、合計83人

平成26年12月17日 消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配備

平成27年 1月 1日 条例改正により機能別消防団員15人増員、定員380人

平成27年 3月31日 消防職員1人退職、合計82人

平成27年 4月 1日 消防職員1人採用、合計83人  
 条例改正により基本消防団員40人増員、定員420人

平成27年 4月30日 消防職員1人退職、合計82人

平成28年 3月16日 高機能消防指令システム運用開始

平成28年 3月31日 十五代 消防長 日比野典康氏退任、退職  
 消防職員2人退職、合計80人

平成28年 4月 1日 十六代 消防長 渡邊勝美氏就任  
 消防職員3人採用、合計83人

平成28年11月28日 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入、南分署へ配備

平成29年 3月25日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第二分団、桑原分団へ配備

平成29年 3月31日 消防職員1人退職、合計82人

平成29年 4月 1日 消防本部消防総務課係長(財)日本消防協会、1年研修派遣  
 消防職員2人採用、合計84人

平成29年 6月30日 消防職員1人退職、合計83人

平成29年 9月29日 日興製薬株式会社から連絡車ヴィッツ寄贈、消防署へ配備

平成29年12月19日 公益財団法人 日本消防協会から防災活動車フォレスター寄贈、消防署へ配備

平成29年12月25日 救助工作車 1 台購入、消防署へ配備

平成30年 3月31日 十六代 消防長 渡邊勝美氏退任、退職  
 消防職員2人退職、合計81人

平成30年 4月 1日 十七代 消防長 青木茂生氏就任  
 消防職員2人採用、合計83人

平成30年 6月30日 消防職員1人退職、合計82人

平成30年12月20日 小型動力ポンプ付普通積載車1台購入、江吉良分団へ配備

平成30年12月25日 小型動力ポンプ付軽積載車2台購入、足近分団、江吉良分団へ配備  
 災害対応特殊救急自動車1台購入、消防署へ配備  
 平成31年 4月 1日 消防職員2人採用、合計84人  
 令和元年12月20日 小型動力ポンプ付普通積載車1台購入、下中分団へ配備  
 小型動力ポンプ付軽積載車2台購入、堀津分団、下中分団へ配備  
 令和 2年 3月31日 消防職員1人退職、合計83人  
 十三代 消防団長 藤本恵司氏退任  
 令和 2年 4月 1日 十四代 消防団長 泉德行氏就任  
 令和 2年 6月30日 消防職員1人退職、合計82人  
 令和 2年12月27日 消防ポンプ自動車1台購入、正木分団へ配備  
 令和 3年 3月31日 消防職員4人退職、合計78人  
 令和 3年 4月 1日 消防職員2人採用、合計80人  
 令和 3年 7月31日 消防職員1人退職、合計79人  
 令和 3年12月25日 高規格救急自動車1台購入、消防署へ配備  
 令和 3年12月31日 消防職員2人退職、合計77人  
 令和 4年 1月31日 消防職員1人退職、合計76人  
 令和 4年 3月31日 十七代 消防長 青木茂生氏退任、市長室危機管理課出向  
 消防職員1人退職、合計75人  
 令和 4年 4月 1日 十八代 消防長 奥田豊氏就任  
 消防職員6人採用、合計81人  
 令和 5年 3月31日 消防職員1人退職、合計80人  
 令和 5年 4月 1日 消防職員5人採用、合計85人  
 令和 5年10月31日 消防職員1人退職、合計84人  
 令和 6年 1月 1日 能登半島地震に緊急消防援助隊を派遣  
 令和 6年 3月 4日 指揮車1台購入、消防署へ配備  
 令和 6年 3月31日 消防職員4人退職、市役所職員1人復帰、合計79人  
 十四代 消防団長 泉德行氏退任  
 令和 6年 4月 1日 消防職員4人採用、合計83人  
 十五代 消防団長 大橋秀明氏就任  
 令和 6年 5月22日 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配備  
 令和 6年 9月29日 奥能登豪雨に緊急消防援助隊を派遣

## 歴代管理者・消防長・消防署長・消防団長

### 管理者

初代	河村 忠一	昭和40年 1月 1日 ~ 昭和53年 4月24日
二代	國枝 金市	昭和53年 4月25日 ~ 昭和55年11月 1日
三代	酒井 忠好	昭和55年12月21日 ~ 昭和63年12月20日
四代	岩田 博正	昭和63年12月21日 ~ 平成 8年12月20日
五代	吉田 三郎	平成 8年12月21日 ~ 平成16年12月20日
六代	白木 義春	平成16年12月21日 ~ 平成24年12月20日
七代	松井 聡	平成24年12月21日 ~ 現在に至る

### 消防長

市長兼務	河村 忠一	昭和40年 1月 1日 ~ 昭和47年 9月30日
初代	大島 庄一	昭和47年10月 1日 ~ 昭和48年 3月31日
助役兼務	上野 幸一	昭和48年 4月 1日 ~ 昭和48年 4月17日
二代	太田 万佐生	昭和48年 4月18日 ~ 昭和50年 3月31日
助役兼務	上野 幸一	昭和50年 4月 1日 ~ 昭和50年 6月30日
三代	浅井 建司	昭和50年 7月 1日 ~ 昭和56年 3月31日
四代	大橋 数実	昭和56年 4月 1日 ~ 昭和60年 3月31日
五代	岩田 秀一	昭和60年 4月 1日 ~ 平成 4年 3月31日
六代	棚瀬 博	平成 4年 4月 1日 ~ 平成 7年 3月31日
七代	吉澤 壽	平成 7年 4月 1日 ~ 平成 8年 3月31日
八代	柴田 正也	平成 8年 4月 1日 ~ 平成10年 3月31日
九代	番 則良	平成10年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
十代	岩田 隆雄	平成11年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
十一代	加藤 清利	平成16年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
十二代	小池 一郎	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
副市長兼務	大野 隆弘	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
十三代	大橋 照男	平成22年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
十四代	古澤 國昭	平成23年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
十五代	日比野 典康	平成25年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
十六代	渡邊 勝美	平成28年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
十七代	青木 茂生	平成30年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日
十八代	奥田 豊	令和 4年 4月 1日 ~ 現在に至る

### 消防署長

初代	浅井 建司	昭和40年 1月 1日 ~ 昭和41年 6月30日
二代	渡辺 良雄	昭和41年 7月 1日 ~ 昭和42年12月21日

三代(次長兼務)	大島 庄一	昭和42年12月22日 ~ 昭和43年 4月 5日
四代	番 善秀	昭和43年 4月 6日 ~ 昭和48年 4月17日
五代	戸谷 芳一	昭和48年 4月18日 ~ 昭和51年 5月 9日
六代	北尾 純市	昭和51年 5月10日 ~ 昭和53年 5月24日
七代	杉山 芳夫	昭和53年 5月25日 ~ 昭和56年 3月31日
八代	棚瀬 博	昭和56年 4月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
九代	武田 富士三	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
十代	岩田 隆雄	昭和62年 4月 1日 ~ 平成 9年 3月31日
十一代	坂倉 悟	平成 9年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
十二代	齋藤 富治	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
十三代	小池 一郎	平成14年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
十四代	浅井 廣志	平成16年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
次長兼務	浅井 廣志	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
十五代	大橋 照男	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
十六代	古澤 國昭	平成22年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
十七代	水野 秀治	平成23年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
十八代(次長兼務)	大塚 一芳	平成24年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
十九代	北川 順浄	平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
二十代	奥田 弘	平成26年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
次長兼務	奥田 弘	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
二十一代	奥田 豊	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
次長兼務	奥田 豊	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日
二十二代(次長兼務)	森 直弘	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
副消防長兼務	森 直弘	令和 6年 4月 1日 ~ 現在に至る

### 消防団長

初代	春日井 常吉	昭和31年 4月 1日 ~ 昭和37年11月30日
二代	岡田 幸逸	昭和37年12月 1日 ~ 昭和45年 3月31日
三代	青山 彦太郎	昭和45年 4月 1日 ~ 昭和51年 3月31日
四代	馬場 弘一	昭和51年 4月 1日 ~ 昭和53年 3月31日
五代	大橋 実夫	昭和53年 4月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
六代	大島 喜三郎	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和60年 3月31日
七代	安藤 栄吉	昭和60年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
八代	藪野 芳治	昭和62年 4月 1日 ~ 平成 4年 3月31日
九代	馬場 弘三	平成 4年 4月 1日 ~ 平成 6年 3月31日
十代	安井 善保	平成 6年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
十一代	岩田 浩	平成11年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
十二代	大野木 真	平成13年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日

十三代	藤本 恵司	平成23年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
十四代	泉 徳行	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
十五代	大橋 秀明	令和 6年 4月 1日 ~ 現在に至る

# 消防情勢



羽島市消防職員意見発表会

(令和7年1月開催)

## 施 設 の 現 勢



### 羽島市消防本部・羽島消防署

位 置	羽島市竹鼻町丸の内9丁目26番地
敷地面積	2,232.73㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート 一部鉄骨造2階建
建築面積	1,039.69㎡
延 面 積	1,850.26㎡
1 階	735.23㎡
2 階	816.46㎡
救助訓練塔	101.97㎡
ベランダ	196.60㎡
建築年月日	昭和49年6月25日
	※平成26年3月 消防庁舎耐震補強・改修工事



## 羽島消防署北分署

位 置	羽島市正木町須賀本村10番地1
敷地面積	1,686.00㎡
構 造	鉄筋コンクリート造2階建（管理棟） 鉄骨ALC造平屋建（車庫棟） 鉄骨ALC造2階建（副 塔）
建築面積	502.94㎡
延 面 積	759.90㎡
管理棟	492.69㎡
車庫棟	215.00㎡
副 塔	52.21㎡
建築年月日	平成8年2月25日



## 羽島消防署南分署

位 置	羽島市下中町石田 1 3 5 7 番地 3
敷 地 面 積	1,501.18㎡
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
建 築 面 積	474.23㎡
延 面 積	560.72㎡
1 階	380.88㎡
2 階	179.84㎡
建 築 年 月 日	昭和 58 年 3 月 15 日

# 消防機関の配置図



小熊分団

消防本部  
消防署  
団本部

福寿分団

堀津分団

南分署

桑原分団

足近分団

北分署

正木分団

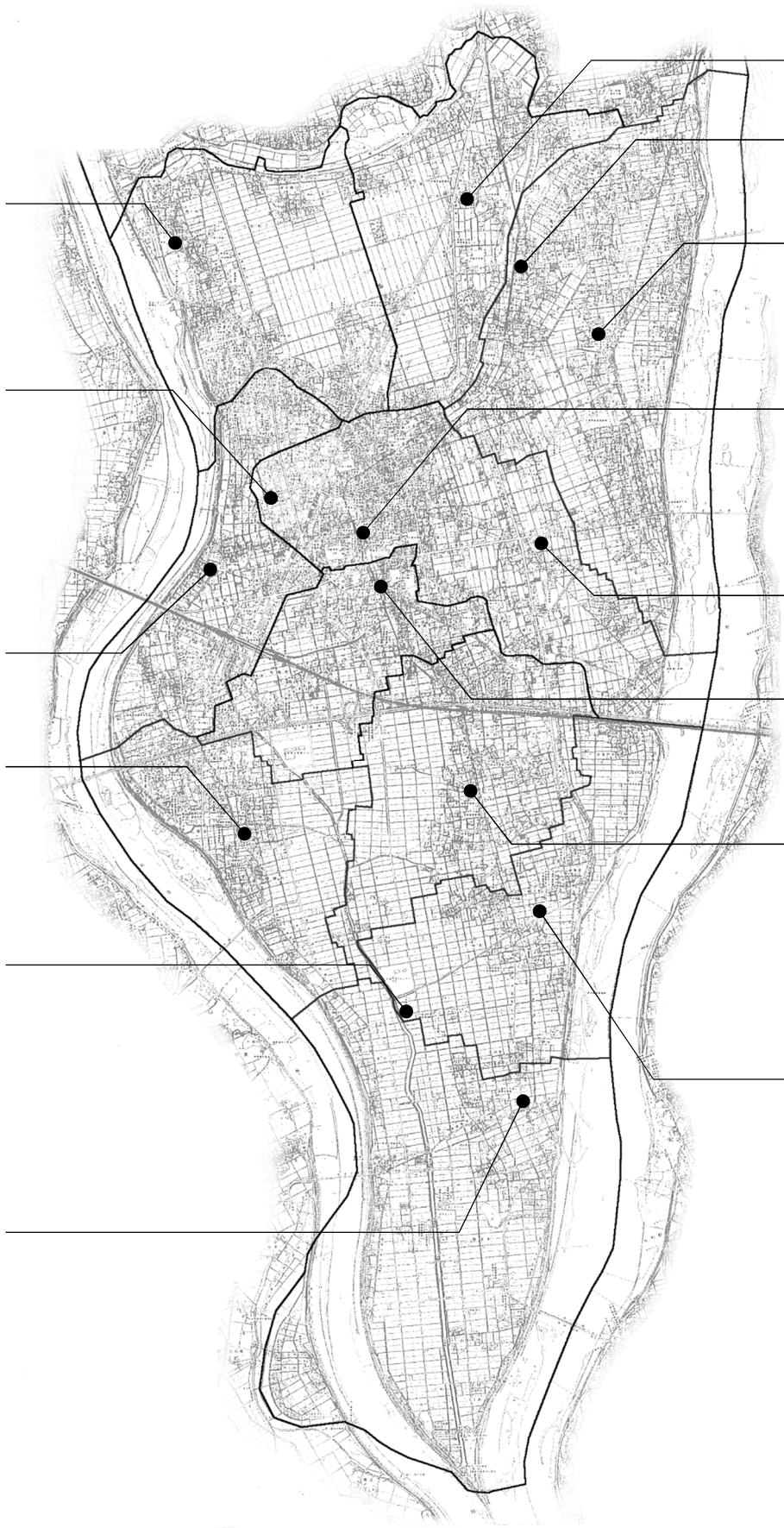
竹鼻第一分団

竹鼻第二分団

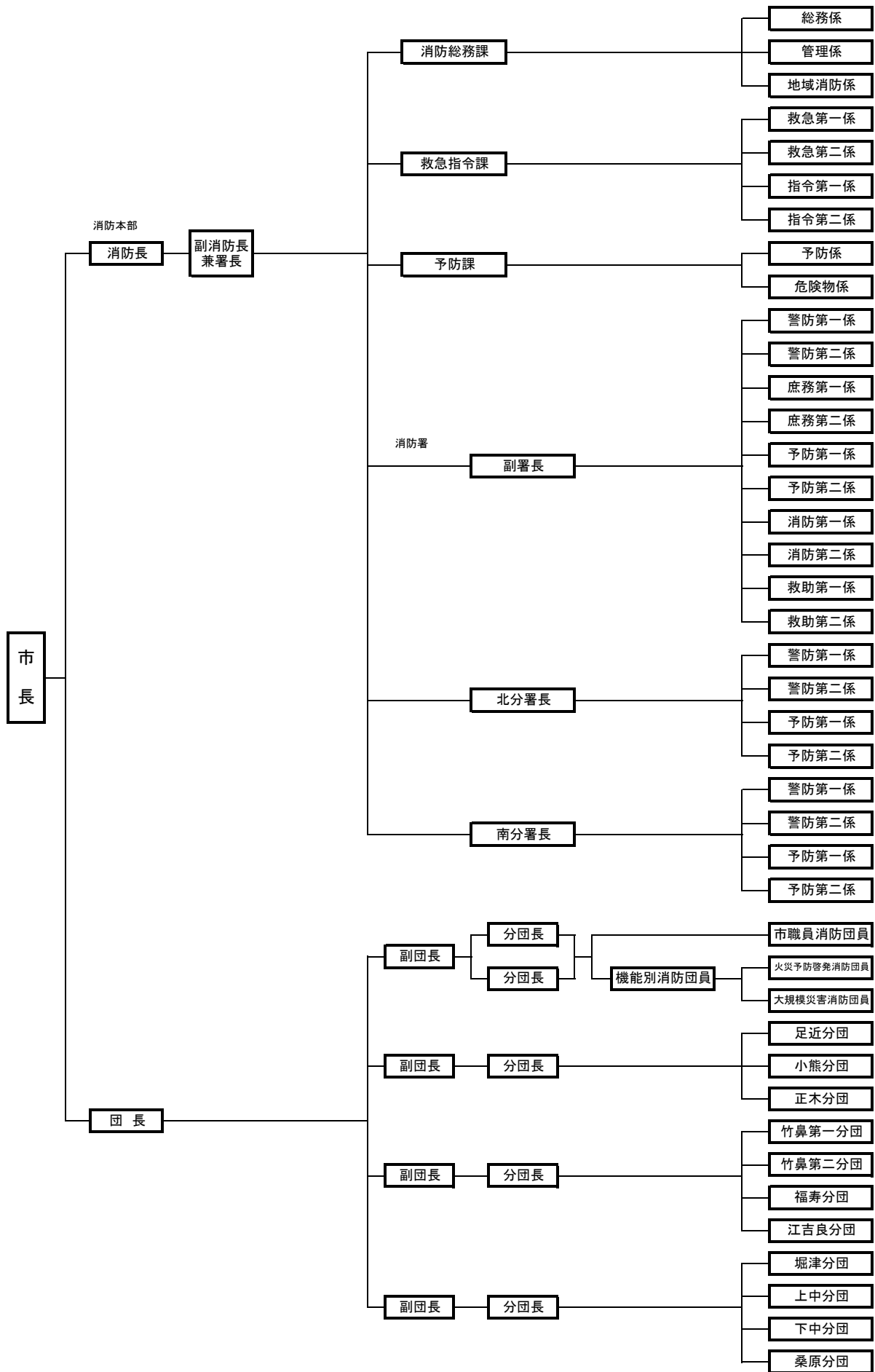
江吉良分団

上中分団

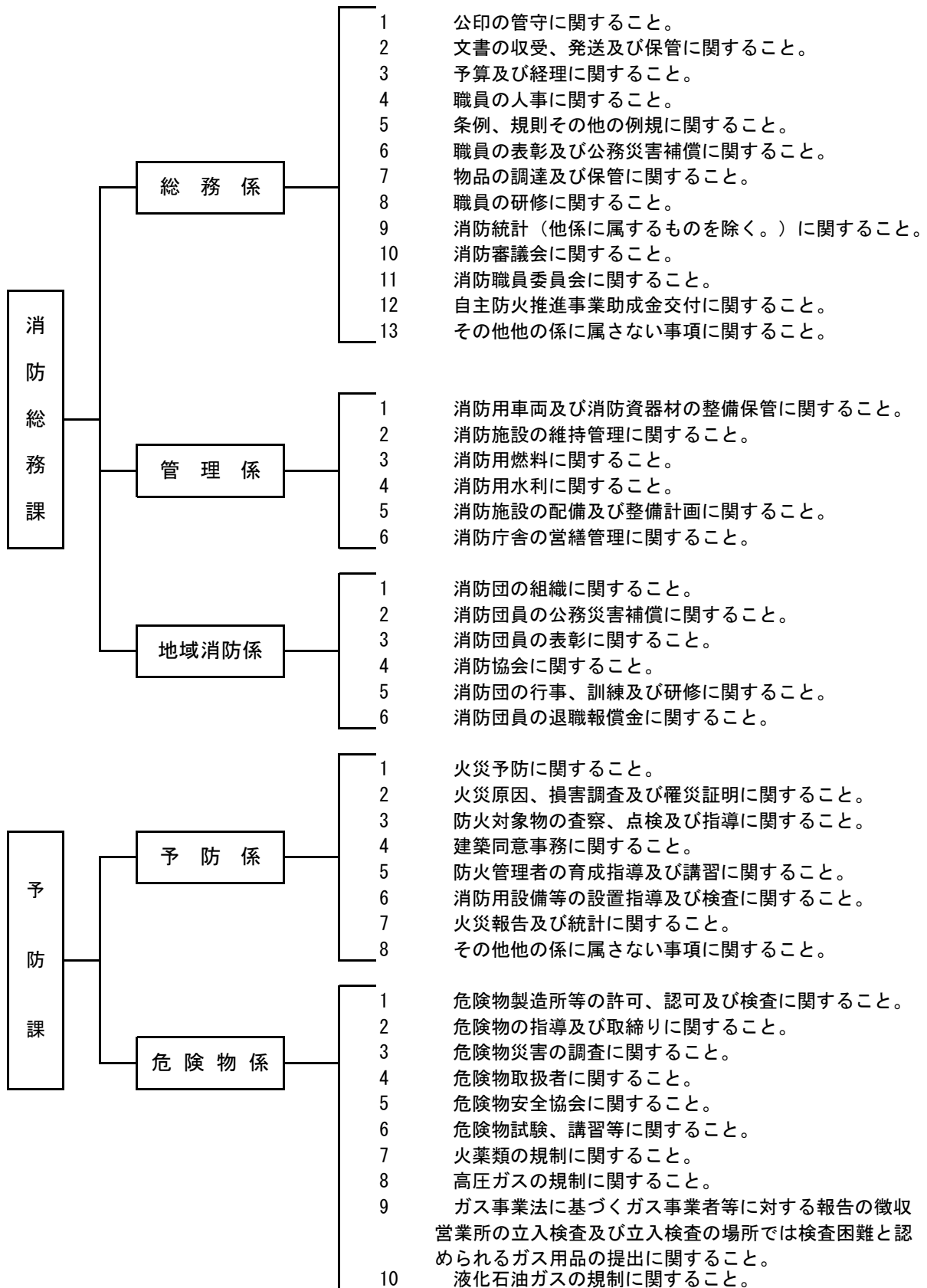
下中分団

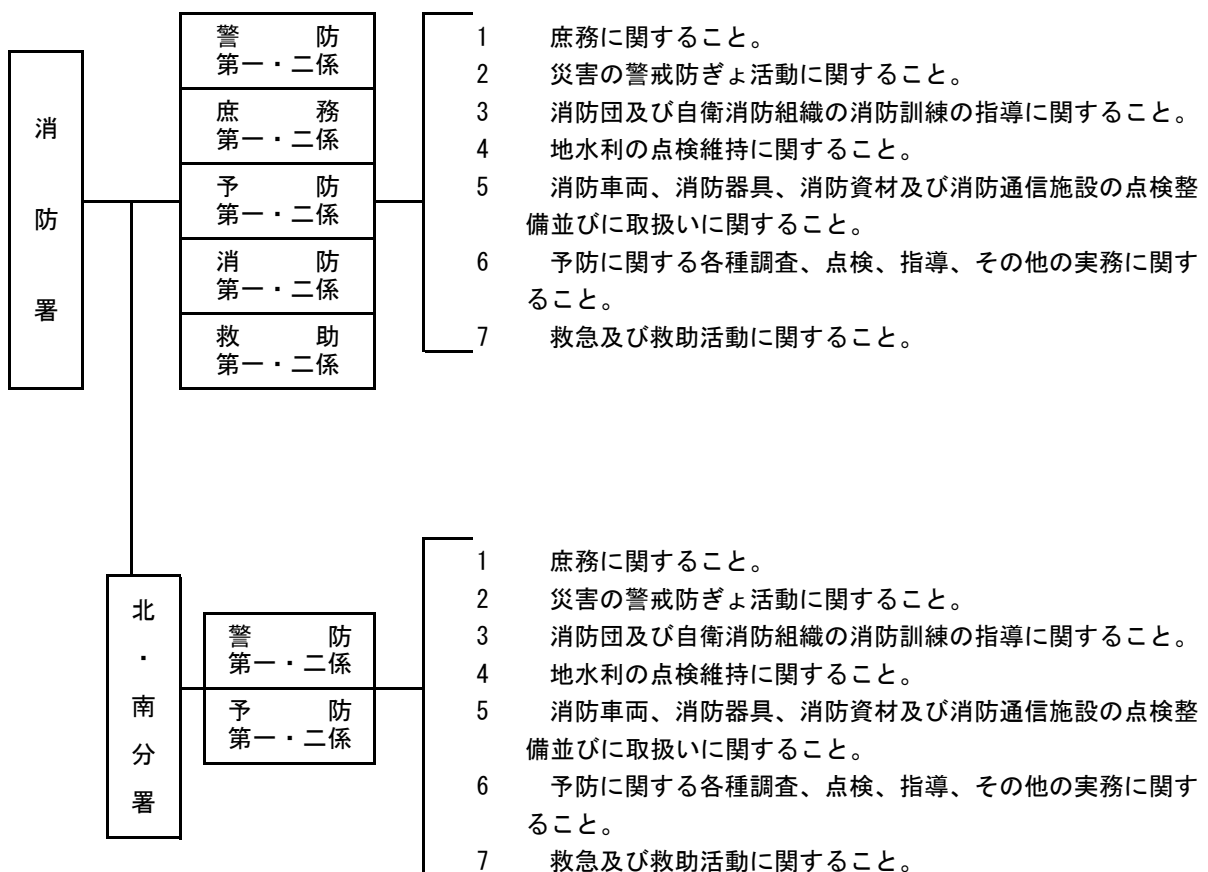
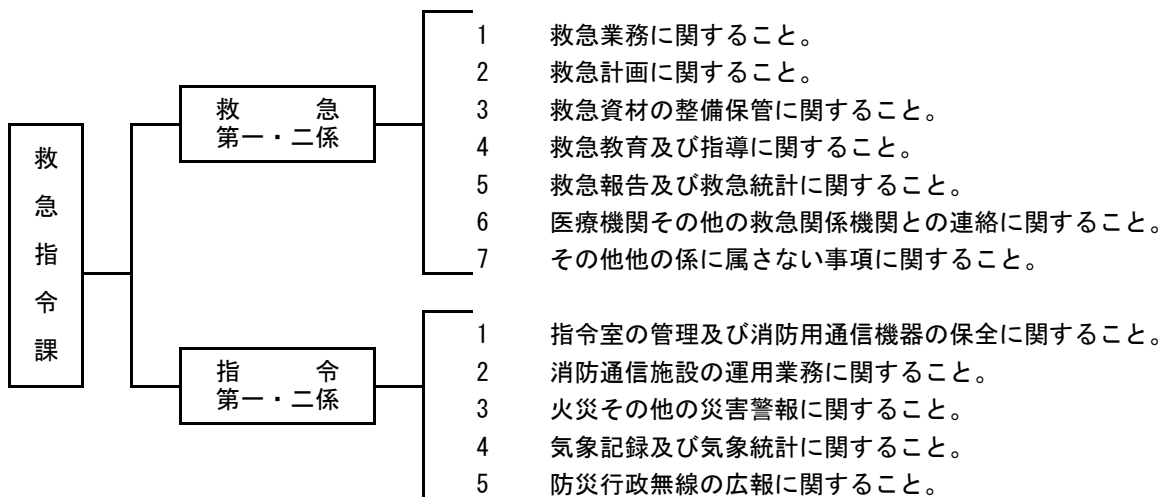


# 消防組織図



# 事 務 分 掌





## 消防予算

令和6年度の消防費は、995,174千円です。区分は、常備消防費 709,136千円(71.3%)、非常備消防費 57,521千円(5.8%)、消防施設費 212,079千円(21.3%)、水防費 16,438千円(1.6%)です。

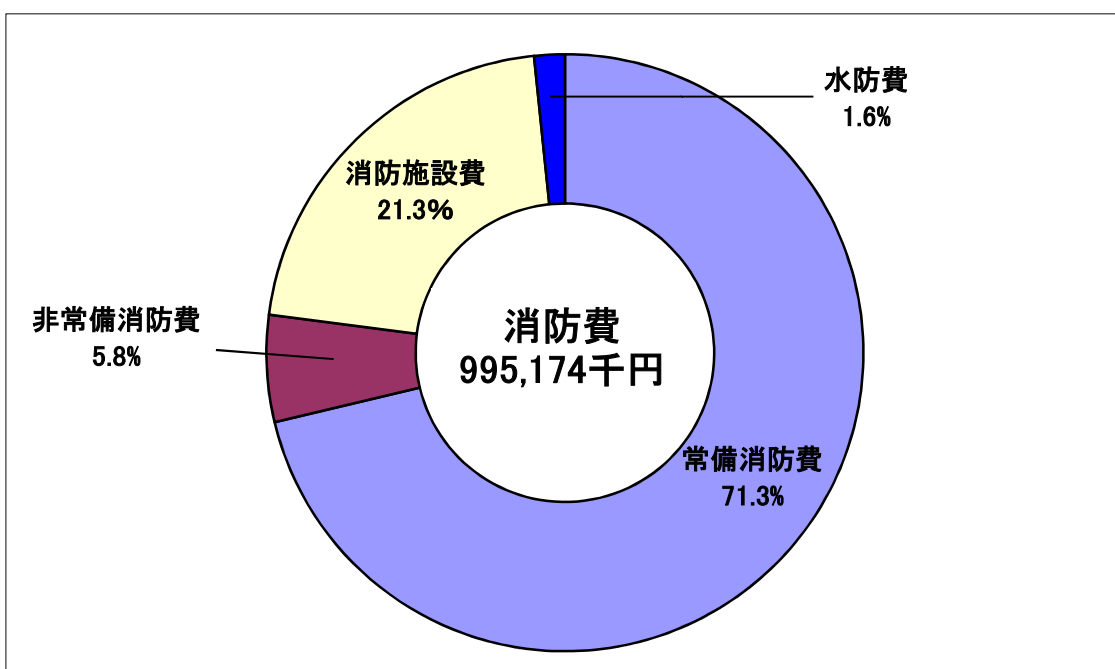
これらの予算は、消防体制の整備・強化及び消防団の活性化を推進し、市民が安心して生活できるまちづくりのために資するものです。

## 消防予算の状況

(単位:千円)

区 分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費
計	709,136	57,521	212,079	16,438
報酬	-	24,227	-	4,691
給料	325,306	-	-	-
職員手当等	213,388	-	-	-
共済費	107,135	-	-	-
災害補償費	-	100	-	100
賃金	-	-	-	-
報償費	33	9,345	-	3,150
旅費	1,455	22	-	266
交際費	80	-	-	-
需用費	29,491	10,880	800	2,004
役務費	10,071	985	78	179
委託料	1,840	124	37,634	5,033
使用料及び賃借料	3,038	259	660	61
工事請負費	-	-	39,402	-
原材料費	92	-	-	245
公有財産購入費	-	-	-	-
備品購入費	4,096	308	119,409	-
負担金及び交付金	12,699	10,899	13,940	709
補償、補填及び賠償金	-	-	-	-
公課費	412	372	156	-

## 消防費内訳表

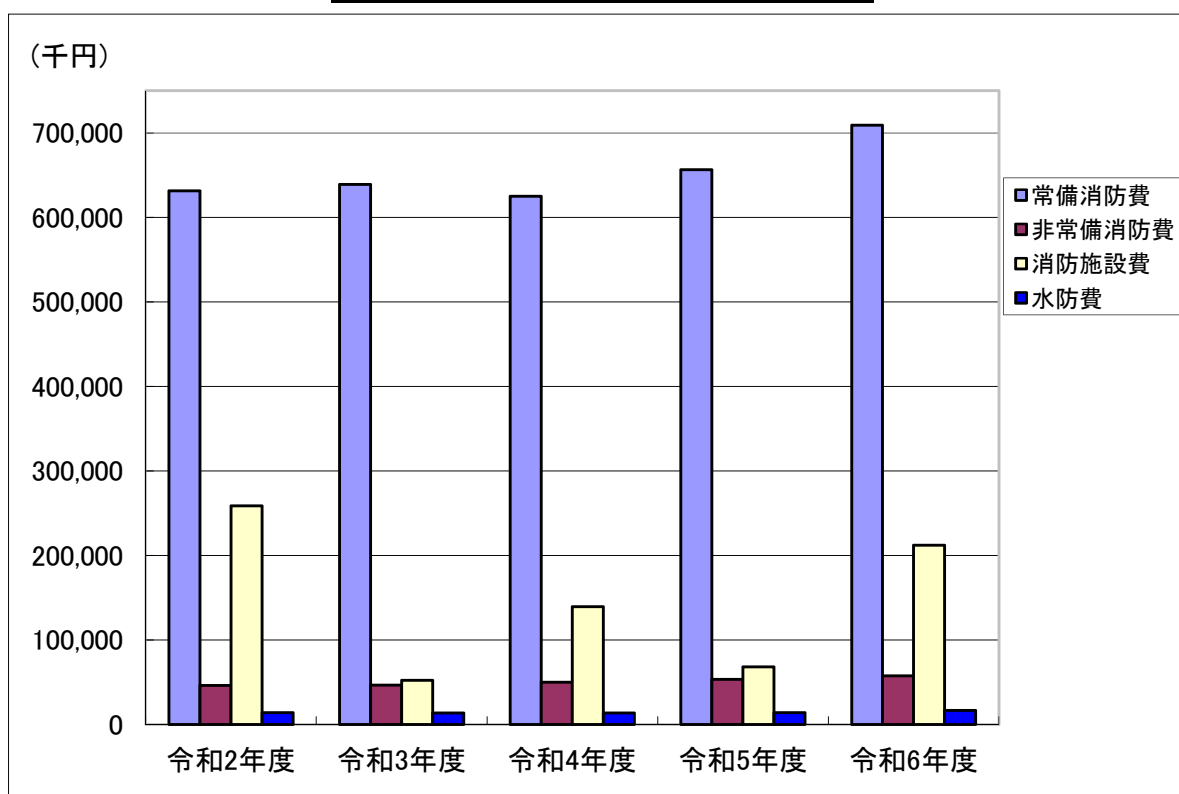


## 一般会計予算に占める消防予算(当初)

区分	一般会計予算 (千円)	消防費予算 (千円)	比率 (%)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
令和2年度	23,450,000	949,966	4.1	67,484	26,706
令和3年度	24,000,000	751,488	3.1	67,241	26,995
令和4年度	22,500,000	827,947	3.7	66,920	27,174
令和5年度	23,200,000	792,039	3.4	66,729	27,660
令和6年度	24,670,000	995,174	4.0	66,412	27,953

※人口・世帯数は、4月1日現在のもの

## 消防費予算の推移

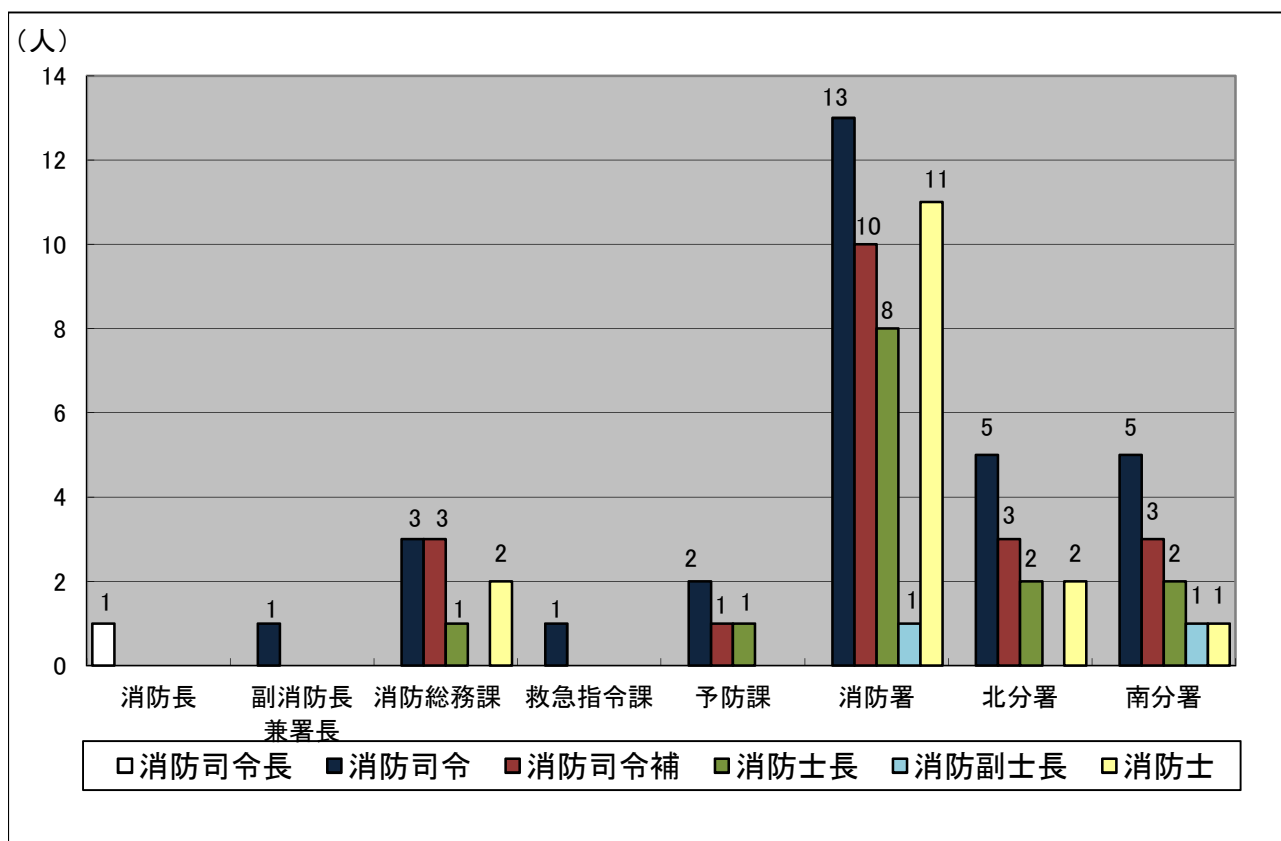


## 消防手当支給状況

職員の職	支給額(月額)	備考
消防職員	給料月額 <sup>10</sup> 分の1	月額12,000円を限度とする
夜間勤務職員	1夜につき 450円	

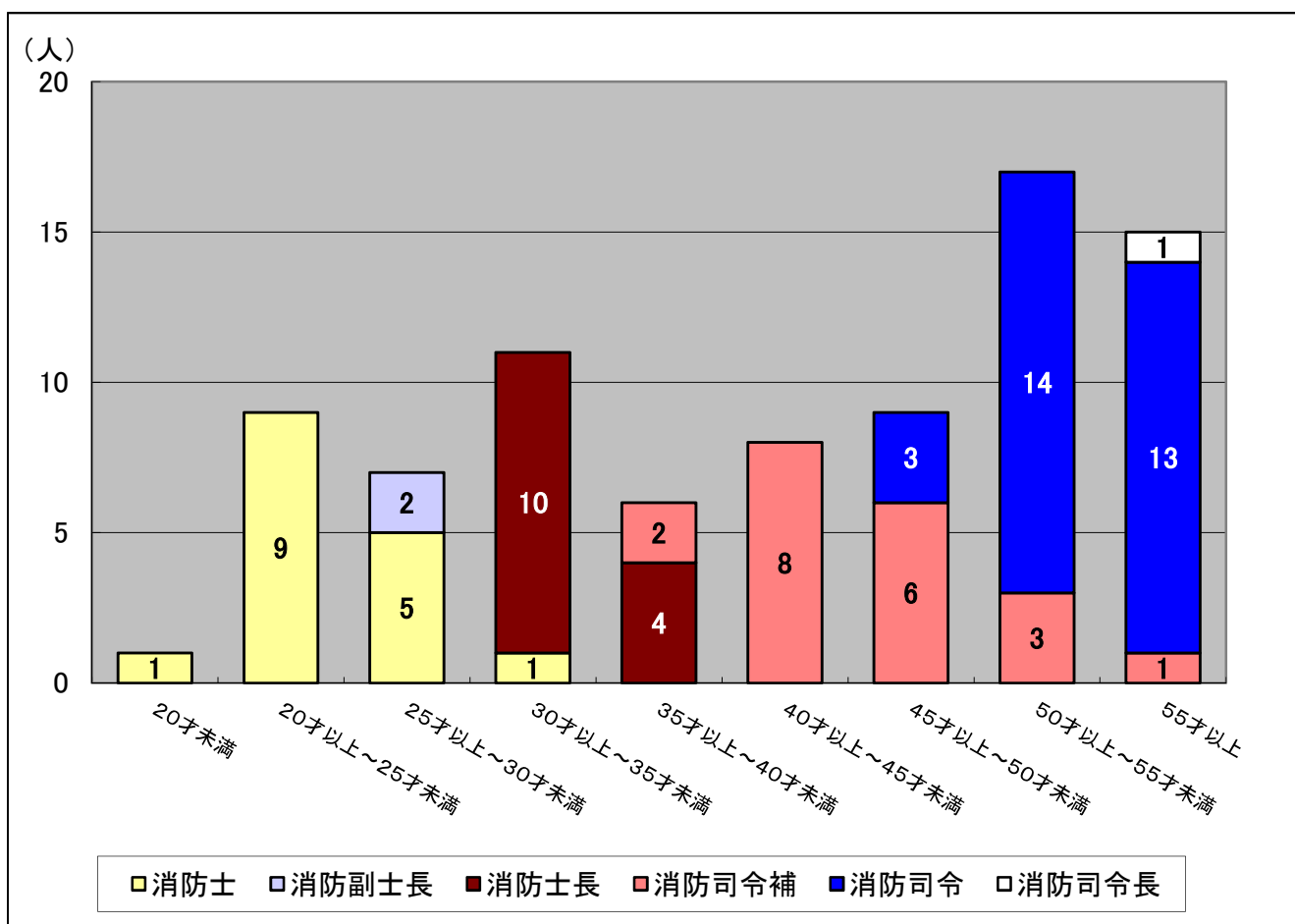
## 消 防 職 員 の 配 置 状 況

区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防本部	消防長	1	1					
	副消防長 兼署長	1		1				
	消防総務課	9		3	3	1	2	
	救急指令課	1		1				
	予防課	4		2	1	1		
消防署	副署長	2		2				
	署員	41		11	10	8	1	11
北分署	分署長	1		1				
	署員	11		4	3	2		2
南分署	分署長	1		1				
	副分署長	1		1				
	署員	10		3	3	2	1	1
計		83	1	30	20	14	2	16



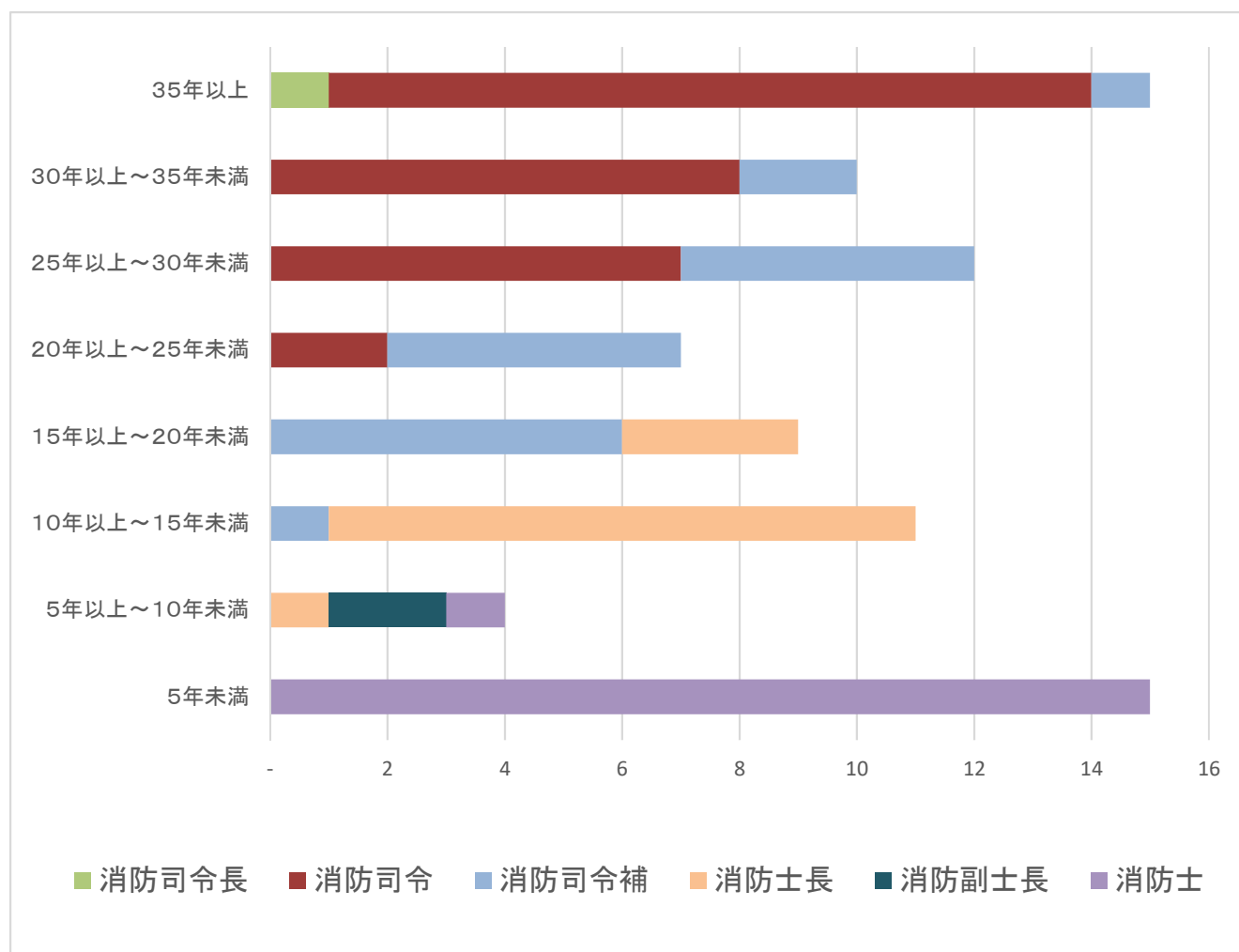
## 年 齡 別 消 防 職 員 数

区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
20才未満	1						1
20才以上～25才未満	9						9
25才以上～30才未満	7					2	5
30才以上～35才未満	11				10		1
35才以上～40才未満	6			2	4		
40才以上～45才未満	8			8			
45才以上～50才未満	9		3	6			
50才以上～55才未満	17		14	3			
55才以上	15	1	13	1			
計	83	1	30	20	14	2	16
平均年齢	42.0	59.0	53.9	44.9	32.9	27.2	23.2



## 在職年数別消防職員数

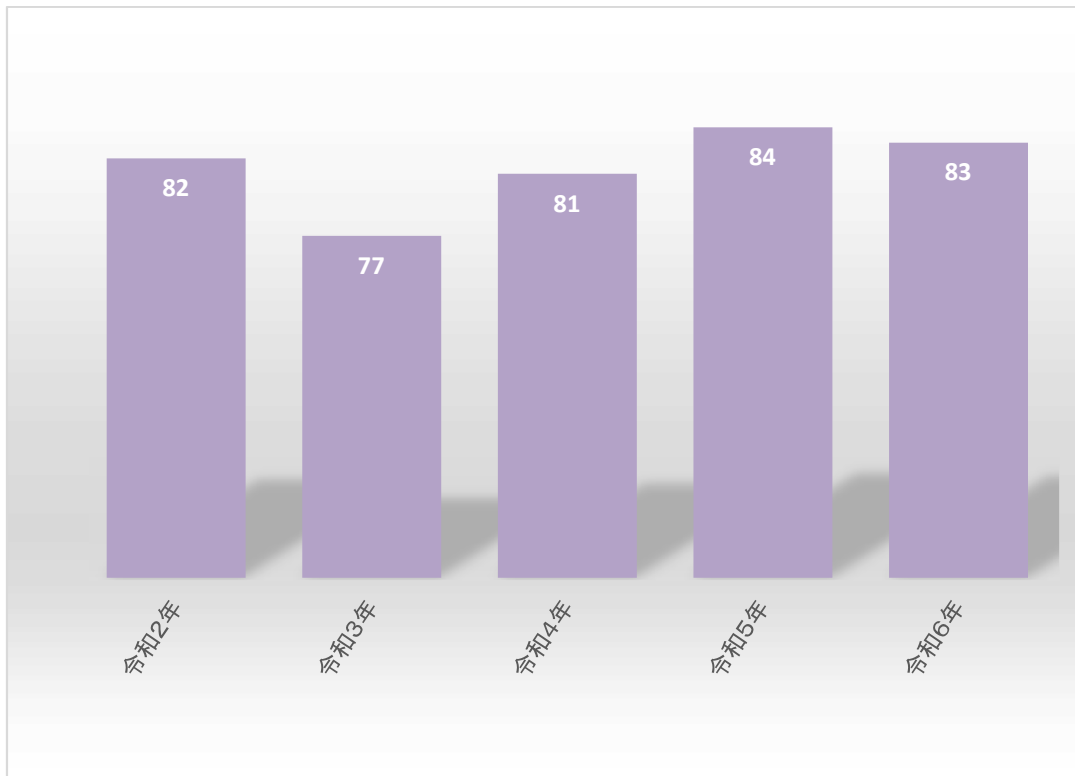
区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
5年未満	15						15
5年以上～10年未満	4				1	2	1
10年以上～15年未満	11			1	10		
15年以上～20年未満	9			6	3		
20年以上～25年未満	7		2	5			
25年以上～30年未満	12		7	5			
30年以上～35年未満	10		8	2			
35年以上	15	1	13	1			
計	83	1	30	20	14	2	16



## 消防職員数の推移

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
条例定数	88	88	88	88	88
消防職員数	82	77	81	84	83

## 消防職員数の状況



## 消防職員の公務災害発生件数の推移

区 分	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
令和2年	1						1
令和3年	3			1	1	1	
令和4年	-						
令和5年	1						1
令和6年	1			1			

※階級は、受傷当時の階級

## 消 防 職 員 教 養 状 況

区 分		計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消 防 大 学 校	警防科	1			1			
	救急科	1		1				
	火災調査科	1	1					
	危険物科	1		1				
	救助科	2		1	1			
	新任教官科	1		1				
岐 阜 県 消 防 学 校	初任教育	75	1	30	20	14	2	8
	総合教育	7						7
	警防科	9		6	3			
	特殊災害科	8	1	4	3			
	予防査察科	9	1	3	4	1		
	危険物科	7		4	2	1		
	予防科	4		4				
	火災調査科	13	1	7	2	3		
	救急科	75	1	30	20	14	2	8
	救助科	23	1	15	5	1	1	
	初級幹部科	11		6	5			
	中級幹部科	2		2				
	上級幹部科	2		2				
	水難救助科	10		3	5	2		
	らっぱ科	13		12	1			
	消防行政事務科	1	1					
	エレベーター教育	8		3	3	2		
	消防操法指導科	18	1	12	3	2		
	ホットトレーニング 指導者講習	3			3			
	MC救命士養成講習	3		1	2			
通信指令員の 救急に係る教育	7		4	2	1			
大規模災害対応に 係る教育	2			2				
消防職員教育者 養成科	1			1				

## 消防職員の資格等保有状況

区 分		計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車運転免許	大型2種	6		2	4			
	大型	66	1	29	20	13	2	1
	中型2種	1			1			
	中型 (8t限定含む)	67	1	30	20	12	1	3
	普通2種	1			1			
	普通	27				9	2	16
	大型特殊	2		1	1			
	けん引	1			1			
	二輪	22	1	7	9	3		2
自動車整備士 2級ガソリン		1			1			
陸上特殊無線技師 (1・2・3級)		82	1	30	20	14	2	15
乙種危険物取扱者第4類		57	1	11	15	14	1	15
救急救命士		24		9	5	7		3
	気管挿管救命士	15		7	5	3		
	薬剤救命士	19		8	5	6		
	ビデオ喉頭鏡	7		3	2	2		
ガス溶接技能者		12		5	6			1
アーク溶接技能者		5	1	2	2			
予防技術検定 (検定合格者含む)	防火査察	24	1	8	10	5		
	消防用設備等	10		5	4	1		
	危険物	8		3	3	2		
消防設備士	甲種	5		1	1	2	1	
	乙種	5		2	1	1	1	
小型船舶免許 2級 (湖川小出力含む)		18		6	5	7		
小型移動式クレーン 運転技能講習		56	1	26	20	8	1	
玉掛け技能講習		45	1	25	12	5	1	1
足場組立等作業主任者		6		3	3			
潜水士		31		8	11	6	2	4
酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者技能講習		12	1	5	5		1	
特定化学物質等 作業主任者		10		7	2		1	
防災士		6		4	2			
伐木等の業務(チェーン ソー)特別教育		3			2		1	
応急危険度判定士		5		2	2	1		

## 消防力の整備指針と現有消防力の比較

		基準台数	基準台数に 対する人員の 基準数	現有台数 (非常用を除く)	現有台数に 対する人員の 基準数	現有人員数
		(台)	(人)	(台)	(人)	(人)
指揮隊員	指揮車	1	8	2	8	
消防隊員	消防ポンプ自動車	5	61	5	48	
	はしご自動車	1	0	0	0	
	化学自動車	1	0	1	0	
	特殊車等	5	0	5	0	
救急隊員	救急自動車	4	32	4	8	
救助隊員	救助工作車	1	14	1	14	
合 計		18	115	18	78 ア	61 イ

※消防力の整備指針を基  
に算定した台数。

通信員	基準人員数 (人)	5	現有人員数 (人)	6
予防事務の要員	基準人員数 (人)	16	現有人員数 (人)	12
うち交替制による職員 (兼務人員数)		5		8
庶務の処理等の人員 (派遣職員等を含む)	基準人員数 (人)	14	現有人員数 (人)	12

		総 数
現有台数に対する消防本部及び署所の人員基準(人) 「ア+通信員(基準人員数)+予防要員(基準人員数-兼務人員数) +庶務の等処理等の人員(基準人員数)」		108
現 有 人 員 数 (人) 「イ+通信員(現有人員数)+予防要員(現有人員-兼務人員数) +庶務の処理等の人員(現有人員数)」		83
不 足 人 員 数 (人)		25
比 率 (%)		76.9

## 消 防 車 両 一 覧 表

区 分	年式	号車名	登録番号	車名	型 式 ポンプ級別	ポ ン プ 製作所名	経過 年数	
消 防 署	災害対応特殊 水槽付消防ポンプ自動車	2024	羽島1	岐阜833す119	日野	I-B・A2級	(株)モリタ	0
	消防ポンプ自動車	2014	羽島2	岐阜800せ7576	日野	CD-1・A2級	(株)モリタ	10
	消防ポンプ自動車	1996	羽島3	岐阜 88ろ1756	三菱	CD-1・A2級	(株)モリタ	28
	救助工作車	2017	羽島41	岐阜 832も119	日野	Ⅱ 型		7
	指揮車	2017	羽島51	岐阜800そ957	スバル			7
	現場指揮車	2024	羽島52	岐阜800そ7660	トヨタ			0
	防火広報車	2009	羽島63	岐阜100そ1980	トヨタ			15
	防火指導車	2011	羽島64	岐阜480さ9886	ダイハツ			13
	資機材搬送自動車	2005	羽島71	岐阜800す4748	いすゞ			19
	電源照明車	2007	羽島72	岐阜800す8794	トヨタ			17
	化学消防ポンプ自動車	2002	羽島化学1	岐阜800は 368	日野	Ⅱ型・A2級	GMIいちほら	22
	災害対応特殊 救急自動車	2018	救急羽島1	岐阜832ゆ119	日産	高規格		6
	救急自動車	2008	救急羽島3	岐阜800せ 694	トヨタ	高規格		16
	査察車	2009	ステラ	岐阜580ふ、816	スバル			15
	人員輸送車	2001	ハイエース	岐阜300な4038	トヨタ			23
	連絡車	2006	アルト	岐阜580こ1841	スズキ			18
	連絡車	2017	ヴィッツ	岐阜503の8992	トヨタ			7
南 分 署	災害対応特殊 水槽付消防ポンプ自動車	2016	羽島南1	岐阜 800は2519	日野	I-B・A2級	(株)モリタ	8
	広報車	2009	羽島南51	岐阜880あ 718	ダイハツ			15
	救急自動車	2021	救急羽島5	岐阜830さ2112	日産	高規格		3
北 分 署	災害対応特殊 水槽付消防ポンプ自動車	2012	羽島北1	岐阜800は1950	日野	I-B・A2級	(株)モリタ	12
	査察車	2009	ステラ	岐阜580ふ、556	スバル			15
	救急自動車	2014	救急羽島2	岐阜800せ6662	トヨタ	高規格		10

※羽島1、羽島南1、救急羽島1は、緊急消防援助隊登録車両

## 消 防 水 利 の 現 況

区 分		計	足 近 町	小新 熊生 町町	正 木 町	竹 鼻 町	福 寿 町	江舟 吉橋 良 町町	堀 津 町	上 中 町	下 中 町	桑 原 町
計		1,417	98	121	206	273	158	133	79	138	90	121
防火水槽	100m <sup>3</sup> 以上	12				6	2	4				
	40m <sup>3</sup> 以上	142	12	15	25	21	9	6	10	8	22	14
	40m <sup>3</sup> 未 満	81	2	1	21	12	15	4	1	23	2	
防火水槽計		235	14	16	46	39	26	14	11	31	24	14
消 火 栓	地 下	875	51	65	119	211	120	110	32	81	52	34
	地 上	244	14	27	39	18	11	7	25	20	14	69
消火栓計		1,119	65	92	158	229	131	117	57	101	66	103
井 戸		50	17	12	1	2		1	10	4		3
プー ル		13	2	1	1	3	1	1	1	2		1
その他 計		63	19	13	2	5	1	2	11	6	-	4

# 消防相互応援協定

## 1. 隣接市町との応援協定

協定市町村等 (名称は締結時のもの)	施行年月日	第一次派遣区域	第二次派遣区域
笠 松 町	平成31年 2月19日	管轄区域の境界付近	全 域
羽島郡消防事務組合	昭和61年12月 1日	市町境界付近約2km内	
輪 之 内 町	平成元年 6月 1日	市町境界の橋梁の端より約2km以内の区域	
岐 阜 市	令和 5年10月23日	行政区域から2km以内	
海 津 市	平成18年 4月 1日	平田町野寺、幡長、勝賀	
大垣消防組合	平成19年10月 1日	市町界の長良川に架かる橋梁から約2km内	

## 2. 高速道路における消防相互応援協定

協定名	施行年月日	協定市町村等(名称は締結時のもの)	応援区域
高速道路における消防相互応援協定	平成19年 1月19日	小 牧 市	第1次担当消防機関及び第2次担当消防機関
		一 宮 市	
名神高速道路消防応援協定	昭和58年 6月 1日	羽 島 市	
		岩 倉 市	
		大垣消防組合	
		彦 根 市	
岐阜県内の高速道路等における消防相互応援協定	令和 2年12月 1日	湖南消防組合	
		養 老 町	
		愛知郡広域行政組合	
		大 津 市	
		不破消防組合	
		中部地域消防組合	
羽 島 市			
岐阜県内の高速道路等における消防相互応援協定	令和 2年12月 1日	坂田郡広域行政組合	
		甲賀郡行政事務組合	
		岐 阜 市	
		高 山 市	
		多 治 見 市	
		中 津 川 市	
瑞 浪 市			
羽 島 市			
恵 那 市			
土 岐 市			
各 務 原 市			
飛 弾 市			
郡 上 市			
養 老 町			
大垣消防組合			
中濃消防組合			
可茂消防事務組合			
羽島郡広域連合			
不破消防組合			
揖斐郡消防組合			

## 3. 広域消防相互応援協定等

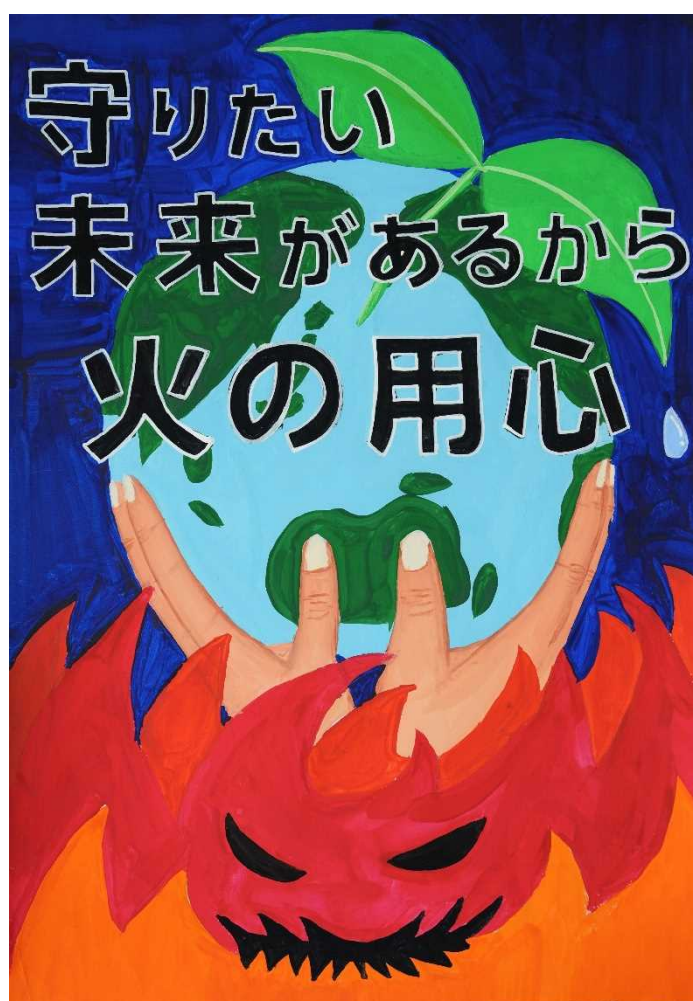
協定名	施行年月日	協定市町村等(名称は締結時のもの)	応援区域
屈折はしご付消防自動車の運用委託に係る消防応援協定	令和 3年 8月 1日	羽島郡広域連合	羽島市全域
岐阜県広域消防相互応援協定	令和 3年12月 1日	岐阜県内21市19町2村6消防組合	ブロック派遣は、岐阜地域内 県域派遣は、岐阜県内全域
岐阜県防災ヘリコプター支援協定	平成31年 1月 1日	岐阜県	岐阜県全域
木曾川流域消防相互応援協定	平成19年 1月25日	一 宮 市	木曾川流域
		羽 島 市	
		犬 山 市	
		各 務 原 市	
岐阜県ドクターヘリ事業に関する協定	平成23年 2月 9日	江 南 市	岐阜県と岐阜大学医学部附属病院と県下消防管理者
		海 津 市	
		稲 沢 市	
		丹羽広域事務組合	

## 消 防 機 関 の 出 動 状 況

区分	計	火 災	風 水 害 等 の 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	救 急	救 助 活 動	広 報 ・ 指 導	警 防 調 査	火 災 調 査	特 別 警 戒	捜 索	予 防 査 察	誤 報 等	そ の 他
出動 件数 合計	3,814	23	-	9	3,293	46	15	106	4	-	10	295	13	-
1月	358	3			348	5						2		
2月	285				264	3		7			1	7	3	
3月	262	3			251	4		3					1	
4月	271	3			253	6		5			3		1	
5月	272	1		1	232			3				35		
6月	331	3		2	254	4		15			2	50	1	
7月	349	1			295	8		20			1	23	1	
8月	337	2			288	4		16	1			25	1	
9月	290	1			242	2		17				26	2	
10月	319	1		2	258	2		17	1		2	34	2	
11月	318	2		3	247	3	8	2	1			51	1	
12月	422	3		1	361	5	7	1	1		1	42		
出動 延人数 合計	12,424	337	-	75	10,289	453	30	337	52	-	119	614	118	-

※1件の火災で、消火活動と火災調査を行った場合は、「火災」にのみ件数を計上している。

# 予防・危険物



市長賞作品

令和6年度 火災予防に関するポスター

## 防火対象物現況・立入検査状況

区 分		防火対象物総数	業務 防火 管理 対象 物 選 任 数	届 出 済 対 象 物 数	立 入 検 査 実 施 数	
合 計		2,389	503	498	235	
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場	-			
		ロ 公会堂・集会場	43	40	40	
	2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	1	1	
		ロ 遊技場・ダンスホール	9	6	6	4
		ハ 風俗営業等の店舗	-			
		ニ カラオケボックス等	2	2	2	1
	3	イ 待合・料理店	11	9	9	3
		ロ 飲食店	140	85	83	13
	4	百貨店・マーケット・店舗	112	90	90	13
	5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	18	17	17	9
		ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	550	22	22	36
	6	イ 病院・診療所・助産所	52	5	5	5
		ロ 老人福祉・有料老人ホーム・救護・更生児童福祉・身体障害者更生援護・知的障害者援護施設・精神障害者社会復帰施設	53	41	41	
		ハ 老人サービスセンター・軽費老人ホーム・老人福祉センター老人介護支援センター・有料老人ホーム(要介護者入居施設を除く)助産施設・保育所他	72	29	29	3
		ニ 幼稚園・盲学校・聾学校・養護学校	6	4	4	
	7	小・中・高等学校・大学校・各種学校	57	17	17	1
	8	図書館・博物館・美術館	5	2	2	
	9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場	-			
		ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1	1	
	10	車両の停車場・船舶・航空機の発着場	3	1	1	1
	11	神社・寺院・教会	75	8	8	12
	12	イ 工場・作業場	492	26	26	50
		ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-			
	13	イ 自動車車庫・駐車場	24			5
		ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1			
	14	倉庫	300	3	3	38
15	前各項に該当しない事業場	205	44	43	10	
16	イ 特定防火対象物が存する複合用途特定防火対象物	109	44	44	17	
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	44	5	3	11	
17	重要文化財・重要有形民族資料史跡建物	4	1	1		

### 用途別中高層建築物現況

区 分		計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	
			150	79	29	13	9	5	4	3	8
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ 劇場・映画館	-								
		ロ 公会堂・集会場	2	1	1						
	2	イ キャバレー等	-								
		ロ 遊技場等	1	1							
		ハ 風俗営業等の店舗 ニ カラオケボックス等	-								
	3	イ 料理店等	-								
		ロ 飲食店	-								
	4	百貨店・店舗等	-								
	5	イ 旅館・ホテル等	13		3	2	1	1		3	3
		ロ 共同住宅等	62	33	10	3	8	1	3		4
	6	イ 病院・診療所等	4	1		3					
		ロ 老人福祉・有料老人ホーム	1	1							
		ハ 老人デイサービスセンター ニ 幼稚園等	1	1							
	7	小・中・学校等	6	4	1	1					
	8	図書館・博物館等	-								
	9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-								
		ロ 公衆浴場	-								
	10	停車場・発着場	-								
	11	神社・仏閣	-								
	12	イ 工場・作業場	11	10	1						
ロ 映画スタジオ等		-									
13	イ 駐車場等	-									
	ロ 飛行機等の格納庫	-									
14	倉庫	6	3	2			1				
15	その他の事業所	18	10	4	1		1	1		1	
16	イ 特定複合用途	14	7	4	2		1				
	ロ 非特定複合用途	11	7	3	1						
17	重要文化財等	-									

## 用途別消防同意状況

区 分		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
		89	5	5	6	6	11	5	11	12	6	8	8	6	
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ 劇場・映画館	-												
		ロ 公会堂・集会場	-												
	2	イ キャバレー等	-												
		ロ 遊技場等	-												
		ハ 風俗営業等の店舗	-												
	3	ニ カラオケボックス等	-												
		イ 料理店等	-												
		ロ 飲食店	2					1							1
	4	百貨店・店舗等	3			1	1				1				
	5	イ 旅館・ホテル等	-												
		ロ 共同住宅等	-												
	6	イ 病院・診療所等	-												
		ロ 老人福祉・有料老人ホーム	1					1							
		ハ 老人サービスセンター	4			3								1	
	ニ 幼稚園等	-													
	7	小・中・学校等	1										1		
	8	図書館・博物館等	-												
	9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-												
		ロ 公衆浴場	-												
	10	停車場・発着場	-												
	11	神社・仏閣	-												
	12	イ 工場・作業場	4			1					1		1	1	
		ロ 映画スタジオ等	-												
	13	イ 駐車場等	-												
		ロ 飛行機等の格納庫	-												
	14	倉庫	6			1					2	2			1
	15	その他の事業所	7			2	1	2	1				1		
	16	イ 特定複合用途	2								1	1			
ロ 非特定複合用途		-													
	エレベーター・エスカレーター・その他	10			1						4		2	1	2
	住宅	49	5	5	1	1	6	4	9	4	4	3	5	2	

## 工事別消防同意件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	89	5	5	6	6	11	5	11	12	6	8	8	6
新築	84	5	5	5	6	11	5	10	11	6	7	8	5
増築	3			1				1					1
改築	-												
移転	-												
その他	2								1		1		

## 構造別消防同意件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	89	5	5	6	6	11	5	11	12	6	8	8	6
木造	61	5	4	2	5	9	4	10	7	4	3	5	3
鉄骨構造	28		1	4	1	2	1	1	5	2	5	3	3
鉄筋コンクリート構造	-												
その他	-												

## 用途地域別消防同意件数

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	98	5	6	7	7	11	5	12	15	6	10	8	6
第1種低層住居地域	-												
第2種低層住居地域	-												
第1種中高層住居地域	14		1	1		2		3	2		1	3	1
第2種中高層住居地域	2					2							
第1種住居地域	15	4				1			5		2	1	2
第2種住居地域	15		2	1	4	2		3	1	1	1		
準住居地域	3				1				1				1
近隣商業地域	11		1			1	1	3	2	1	2		
商業地域	8		1			1	3		2			1	
準工業地域	25	1	1	4	1	2	1	3	2	4	4	2	
工業地域	-												
工業専用地域	-												
指定なし	5			1	1							1	2

※ 複数の用途地域にまたがる場合は、それぞれの用途地域に件数を計上している。

## 火災予防に関する届出状況

届 出 区 分	届 出 件 数
計	2,596
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	129
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届	129
消 防 用 設 備 等 ( 特 殊 消 防 用 設 備 等 ) 点 検 結 果 報 告 書	1,060
消 防 用 設 備 等 の 工 事 計 画 届	14
消 防 用 設 備 等 ( 特 殊 消 防 用 設 備 等 ) 設 置 届	70
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	40
消 防 訓 練 実 施 届	451
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 い の 開 始 届	25
毒 ・ 劇 物 貯 蔵 取 扱 届	0
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	11
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	3
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備 ヒートポンプ冷暖房機・火花を生じる設備・放電加工機設備設置届	14
燃料電池発電・変電・発電・蓄電・ネオン管設備設置届	18
水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 設 置 届	0
火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為の届	103
煙 火 の 打 ち 上 げ 又 は 仕 掛 け 届	2
催 物 開 催 届	7
道 路 工 事 届	458
露 店 等 の 開 設 届	62

## 危険物施設現況

区分		危険物施設数	五倍以下	五倍を超え十倍以下	十倍を超え五十倍以下	五十倍を超え百倍以下	百倍を超え百五十倍以下	百五十倍を超え二百倍以下	二百倍を超え千倍以下	千倍を超えるもの
計		145	51	28	28	14	3	6	14	1
製造所		3		1	2					
貯蔵所	屋内	26	11	5	4	4			1	1
	屋外タンク	11	1	3	6			1		
	屋内タンク	2	2							
	地下タンク	34	16	4	5	5	2	1	1	
	簡易タンク	-								
	移動タンク	10	9		1					
	屋外	4		4						
取扱所	給油	32	2	5	6	2	1	4	12	
	販売	1	1							
	一般	22	9	6	4	3				
	移送	-								

## 危険物施設立入検査状況

区分	計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油取扱所	販売		一般	移送取扱所	
											第一種	第二種			
施設数	145	3	26	11	2	34	-	10	4	32	1	-	22	-	
立入検査	実施数	60	0	3	2	2	15	-	10	0	18	4	-	6	-
	行政指導数	30	0	3	1	2	6	-	1	0	11	3	-	3	-

## 危険物施設許可・完成検査等状況

区分	計	製造所	貯蔵所							取扱所				
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油取扱所	販売		一般	移送取扱所
											第一種	第二種		
計	6	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	1	-
許可	設置	1											1	
	変更	2								2				
完成検査	設置	-												
	変更	3		1						2				

## 消防訓練指導状況

区分	避難訓練			初期消火訓練			消火栓取扱訓練			防火研修		
	回数	指導人員	参加人員	回数	指導人員	参加人員	回数	指導人員	参加人員	回数	指導人員	参加人員
計	79	257	7,760	78	253	5,562	5	19	230	2	6	29
1月	2	8	157	3	11	164						
2月	1	3	3	2	6	15						
3月	8	24	524	9	30	684	1	5	130			
4月	8	25	2,685	5	18	1,526						
5月	7	25	677	8	29	973						
6月	7	21	120	7	21	120	1	4	1			
7月	6	17	158	5	14	147	1	4	40			
8月	1	3	28	1	3	28						
9月	8	26	1,279	6	19	87				1	4	20
10月	9	27	680	8	22	537						
11月	17	63	1,121	17	61	903	1	2	50			
12月	5	15	328	7	19	378	1	4	9	1	2	9

# 火災統計



市長賞作品

令和6年度 火災予防に関するポスター

## 火災の概況

- ・火災件数は23件、前年比5件の増加、建物火災は全火災の約52%
- ・火災による死者は2人、負傷者は3人
- ・出火原因の第1位(同率)は「たき火」及び「電気機器」各3件、第2位(同率)は「ストーブ」、「放火(疑い含む)」、「電灯・電話等の配線」及び「焼却炉」各2件
- ・火災の損害額は41,417千円、1日あたり約113千円の損害

区 分		令和6年 (A)	令和5年 (B)	増減 (A)－(B) (C)
火災件数	建物火災	12	5	7
	車両火災	2	2	0
	その他の火災	9	11	△2
	計	23	18	5
焼損棟数	全 焼	6		6
	半 焼			－
	部 分 焼	7	3	4
	ぼ や	8	2	6
	計	21	5	16
焼損面積 (㎡)	建物(床面積)	836	11	825
	その他(枯草等)	1,507	5,487	△3,980
り災世帯		12	2	10
り災人員		32	4	28
損害額(千円)		41,417	6,510	34,907
死傷者	死 者	2		2
	負傷者	3	1	2

1 日 平 均 出 火 件 数                    約0.06件  
 1 日 平 均 火 災 損 害 額                約113千円  
 火 災 1 件 あ た り 平 均 損 害 額        約1,801千円  
 建 物 火 災 1 件 あ た り 焼 損 床 面 積      約70㎡

## 時間別火災状況



(時未満)

## 区域別火災状況

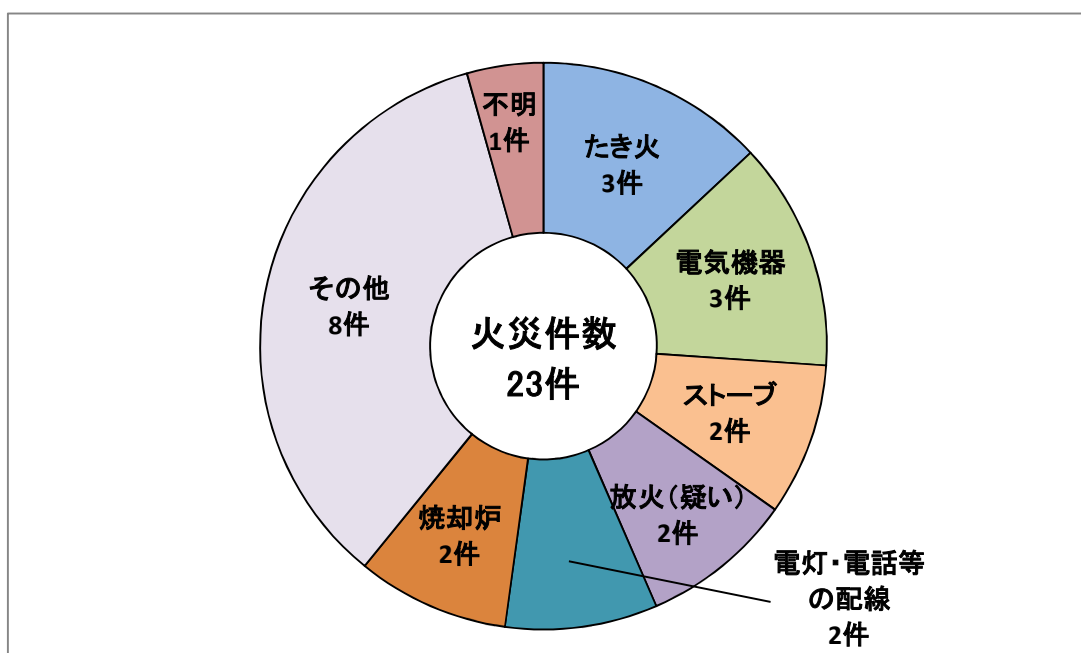
		計	足近町	小熊町	新生町	正木町	竹鼻町	福寿町	江吉良町	舟橋町	堀津町	上中町	下中町	桑原町
火災件数	計	23	5	3	–	4	2	2	2	–	–	2	2	1
	建物	12	3	1		2	1	1	1			1	1	1
	車両	2					1		1					
	その他	9	2	2		2		1				1	1	

## 月別火災状況

区分		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	建物	12	3			1	1			1	1	1	2	2
	車両	2						1		1				
	その他	9			3	2		2	1					1
	計	23	3	-	3	3	1	3	1	2	1	1	2	3

## 月別火災原因状況

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	23	3	-	3	3	1	3	1	2	1	1	2	3
たき火	3			2	1								
電気機器	3	1								1			1
ストーブ	2	1										1	
放火(疑い)	2				1				1				
電灯・電話等の配線	2										1	1	
焼却炉	2						1	1					
その他	8	1		1	1	1	1		1				2
不明	1						1						



## 年 別 火 災 状 況

年	火 災 件 数					損 害 額 (千円)				
	計	建物	車両	船舶	その他	計	建物	車両	船舶	その他
S44	24	10	3		11	1,739	1,542	172		25
S45	39	25	3		11	26,898	26,733	143		22
S46	44	15	1		28	1,324	1,273	5		46
S47	44	20	1		23	28,558	28,490	5		63
S48	78	28	4		46	25,642	25,200	235		207
S49	74	22	2		50	24,602	24,453	34		115
S50	60	18	2		40	16,053	16,021	11		21
S51	48	25	3		20	35,237	34,992	155		90
S52	56	25	2		29	1,538,722	1,538,656	11		55
S53	64	17	1		46	48,268	47,679	450		139
S54	62	25	4		33	52,781	45,910	6,511		360
S55	42	20	5		17	157,932	146,241	11,688		3
S56	50	27	3		20	72,052	71,851	198		3
S57	50	22	2		26	73,273	73,138	10		125
S58	40	23	2		15	42,143	40,858	8		1,277
S59	39	21	6		12	48,077	47,290	364		423
S60	27	18	3		6	21,512	20,264	1,244		4
S61	43	29	4		10	65,064	64,886	163		15
S62	25	17	1		7	578,547	577,569	506		472
S63	19	15	2		2	21,480	21,242	153		85
H1	22	17	3		2	69,715	31,265	38,430		20
H2	33	27	4		2	52,971	52,404	555		12
H3	19	13	2		4	17,637	16,896	160		581
H4	40	19	9		12	46,949	43,591	2,322		1,036
H5	77	44	6	1	26	326,747	314,076	12,311	15	345
H6	47	25	1		21	41,882	41,071	795		16
H7	48	19	8		21	85,547	83,106	984		1,457
H8	52	28	4		20	1,114,331	1,111,431	994		1,906
H9	40	16	7		17	46,043	45,354	522		167
H10	23	10	3		10	111,329	57,273	47,556		6,500
H11	36	11	7		18	30,924	25,902	4,761		261
H12	36	19	4		13	83,274	71,792	6,369		5,113
H13	51	19	10		22	66,383	62,417	3,633		333
H14	36	18	1		17	621,267	617,713	3,541		13
H15	34	14	10		10	72,943	58,118	9,817		5,008
H16	32	20	6		6	45,329	44,299	781		249
H17	39	19	3		17	17,854	17,324	393		137
H18	42	20	4		18	119,949	117,756	1,735		458
H19	46	22	4		20	21,673	19,969	1,607		97
H20	38	20	4		14	63,211	61,636	635		940
H21	26	13	2		11	30,587	30,465	91		31
H22	33	21	5		7	42,948	42,282	582		84
H23	29	13	5		11	78,154	76,603	591		960
H24	31	17	3		11	50,728	42,265	8,358		105
H25	36	16	2		18	25,225	22,684	180		2,361
H26	45	21	3		21	901,977	883,297	17,770		910
H27	36	18	4		14	97,669	95,255	1,833		581
H28	30	19	4		7	59,189	58,218	865		106
H29	28	14	4		10	26,832	25,789	890		153
H30	29	7	3		19	37,077	36,241	501		335
R1	21	11	2		8	60,927	59,588	860		479
R2	29	14	2		13	90,844	87,427	2,767		650
R3	23	15	4		4	66,192	63,100	1,717		1,375
R4	28	8	2		18	1,236,184	1,234,751	1,341		92
R5	18	5	2		11	6,060	5,623	326		111
R6	23	12	2		9	41,417	40,331	492		594

## 年別火災最大被害状況

年	発生場所	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)	年	発生場所	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)
S31	正木町	420	8,500	H3	竹鼻町	54	9,256
S32	江吉良町	264	34,000	H4	桑原町	239	16,170
S33	江吉良町	122	500	H5	上中町	550	97,270
S34	足近町	423	1,000	H6	竹鼻町	114	9,844
S35	竹鼻町	89	3,250	H7	竹鼻町	731	42,729
S36	足近町	532	650	H8	竹鼻町	2729	1,018,667
S37	竹鼻町	731	14,580	H9	正木町	251	40,332
S38	竹鼻町	315	4,500	H10	竹鼻町	190	25,527
S39	小熊町	134	2,400	H11	足近町	85	11,846
S40	上中町	334	5,000	H12	足近町	136	19,625
S41	竹鼻町	275	4,300	H13	足近町	194	19,925
S42	小熊町	356	1,972	H14	桑原町	3,117	582,870
S43	正木町	417	8,310	H15	竹鼻町	103	14,252
S44	江吉良町	550	779	H16	竹鼻町	156	16,190
S45	小熊町	300	6,086	H17	竹鼻町	39	8,225
S46	竹鼻町	—	480	H18	小熊町	412	59,328
S47	江吉良町	449	24,197	H19	福寿町	101	5,410
S48	下中町	186	4,715	H20	小熊町	193	26,733
S49	正木町	159	7,490	H21	小熊町	193	20,310
S50	堀津町	329	5,000	H22	竹鼻町	213	19,665
S51	正木町	214	10,000	H23	竹鼻町	991	62,778
S52	福寿町	7,554	1,505,160	H24	竹鼻町	120	14,686
S53	堀津町	279	26,413	H25	竹鼻町	198	15,102
S54	足近町	576	18,987	H26	桑原町	2,548	408,421
S55	江吉良町	157	78,899	H27	正木町	374	29,931
S56	竹鼻町	827	46,002	H28	正木町	163	20,219
S57	福寿町	575	49,136	H29	江吉良町	403	13,830
S58	福寿町	202	1,722	H30	足近町	234	26,711
S59	竹鼻町	161	10,763	R1	正木町	1,432	58,413
S60	竹鼻町	138	8,657	R2	竹鼻町	1,400	41,931
S61	竹鼻町	202	23,815	R3	福寿町	752	42,011
S62	正木町	4,400	454,492	R4	正木町	4,641	1,122,670
S63	竹鼻町	85	12,106	R5	福寿町	10	5,481
H1	下中町	—	38,352	R6	足近町	193	12,911
H2	正木町	119	10,264				

## 過去10年間の火災による死傷者状況

年	発生場所	死者		負傷者				
		消防吏員	その他	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他
平成26年	竹 鼻 町		1			1		
	正 木 町					1		
	舟 橋 町					1		
	正 木 町					1		
平成27年	福 寿 町		1			1		
	竹 鼻 町					1		
	小 熊 町					1		
平成28年	正 木 町		1			1		
	竹 鼻 町					2		
平成29年	正 木 町					1		
	江 吉 良 町					1		
平成30年	下 中 町					1		
	小 熊 町		1					
	竹 鼻 町		1					
令和元年	堀 津 町							1
令和2年	小 熊 町					1		
	正 木 町		1					
	堀 津 町					1		
	竹 鼻 町			1				
令和3年	福 寿 町			1				
	堀 津 町		1					
	正 木 町		1					
	上 中 町							1
	竹 鼻 町					1		
	江 吉 良 町					2		
令和4年	正 木 町					1		
	竹 鼻 町		1					
令和5年	竹 鼻 町					1		
令和6年	足 近 町					2		
	竹 鼻 町					1		
	下 中 町		1					
	桑 原 町		1					

# 救急統計



【多数傷病者対応訓練:羽島市役所新庁舎】

## 救急活動の概要

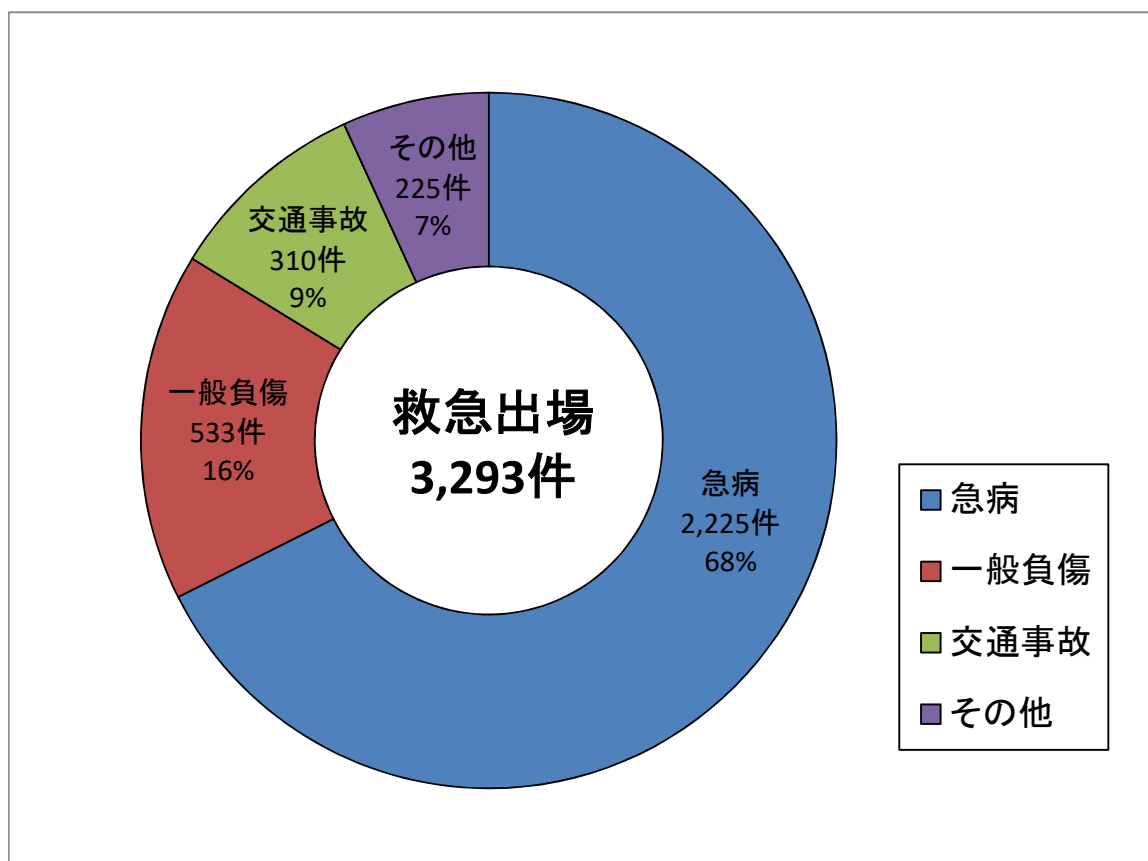
令和6年中における救急出場件数は3,293件、搬送人員は3,163人で、前年と比較すると出場件数が33件(1%)、搬送人員は33人(1.1%)増加しました。

出場件数は1日に平均9件です。出場件数を事故種別で見ると、急病が2,225件(68%)、一般負傷が533件(16%)、交通事故が310件(9%)と上位を占めています。

## 事故種別救急出場件数・搬送人員

区分	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
令和6年(A)	3,293	3	-	8	310	22	9	533	10	19	2,225	154	3,163
令和5年(B)	3,260	1	-	5	277	20	2	503	7	36	2,207	202	3,130
増減(A)-(B)(C)	33	2	-	3	33	2	7	30	3	△17	18	△48	33
増減率(%) (C)÷(B)×100	1.0	200.0	-	60.0	11.9	10.0	350.0	6.0	42.9	△47.2	0.8	△23.8	1.1

## 事故種別救急出場件数



## 月別救急出場件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	3,293	348	264	251	253	232	254	295	288	242	258	247	361
火災	3											2	1
自然災害	-												
水難事故	8			2	2	1	1	1			1		
交通事故	310	21	30	22	31	19	28	18	25	29	25	28	34
労働災害	22	2	1		2	1	2	4	4	3	3		
運動競技	9		1		3		1		1	1	1	1	
一般負傷	533	55	36	50	41	40	40	40	49	36	37	48	61
加害	10	2		1		1	2			1			3
自損行為	19	1			2	4	1		2	2	1	3	3
急病	2,225	255	180	165	161	152	169	215	195	154	179	152	248
その他	154	12	16	11	11	14	10	17	12	16	11	13	11

## 曜日別救急出場件数

区分	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	3,293	443	508	498	461	472	471	440
1月	348	47	55	58	50	51	46	41
2月	264	28	42	27	40	40	42	45
3月	251	34	33	42	30	23	52	37
4月	253	32	51	37	32	41	29	31
5月	232	36	35	24	35	33	44	25
6月	254	43	31	34	31	43	27	45
7月	295	25	43	56	49	35	48	39
8月	288	42	40	45	49	38	38	36
9月	242	32	40	41	28	41	30	30
10月	258	35	30	52	37	40	39	25
11月	247	31	45	30	32	43	28	38
12月	361	58	63	52	48	44	48	48

## 時間別救急出場件数

区分	計	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時
		2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
	3,293	121	94	111	252	391	438	383	362	376	335	247	183
1月	348	10	10	7	22	42	46	48	36	44	36	19	28
2月	264	9	10	14	20	40	27	33	24	33	21	24	9
3月	251	11	6	10	21	24	49	25	25	25	29	11	15
4月	253	8	7	7	25	24	42	21	34	25	23	22	15
5月	232	11	7	6	17	29	32	24	19	22	29	23	13
6月	254	8	6	10	21	29	27	31	33	27	26	21	15
7月	295	11	11	9	28	34	36	42	29	32	27	22	14
8月	288	6	8	9	25	32	42	39	36	34	25	23	9
9月	242	11	6	8	13	25	29	25	30	32	31	20	12
10月	258	13	7	10	19	30	38	27	26	29	28	15	16
11月	247	9	8	9	17	36	29	27	27	34	22	21	8
12月	361	14	8	12	24	46	41	41	43	39	38	26	29

## 高速道路救急出場件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	22	1	2	-	2	4	-	-	10	2	-	1	-
交通事故	14	1	1			4			6	1		1	
急病	7		1		2				3	1			
その他	1								1				

## 管轄別救急出場件数

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	3,293	348	264	251	253	232	254	295	288	242	258	247	361
消 防 署	1,612	165	123	123	125	119	119	153	138	129	127	121	170
北 分 署	961	103	69	75	80	69	81	84	87	61	71	69	112
南 分 署	720	80	72	53	48	44	54	58	63	52	60	57	79

## 区域別救急出場件数

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	3,293	348	264	251	253	232	254	295	288	242	258	247	361
足 近 町	196	22	10	10	18	13	12	23	17	13	9	21	28
小 熊 町	209	25	15	15	10	12	22	17	16	16	19	16	26
新 生 町	103	9	10	7	4	8	6	15	9	12	6	7	10
正 木 町	681	79	51	66	54	48	58	43	67	38	60	37	80
竹 鼻 町	693	76	40	42	52	51	44	78	69	60	60	44	77
福 寿 町	418	36	33	39	33	32	31	31	33	36	25	47	42
江 吉 良 町	170	12	15	14	16	8	16	22	12	13	13	9	20
舟 橋 町	153	10	14	11	18	10	7	13	17	14	9	18	12
堀 津 町	149	17	19	4	13	17	14	11	8	10	13	12	11
上 中 町	225	29	29	20	11	13	18	24	15	13	19	14	20
下 中 町	130	11	11	11	10	7	11	7	8	8	15	14	17
桑 原 町	146	21	15	12	12	9	15	11	9	7	10	7	18
市 外	20	1	2		2	4			8	2		1	

## 5 年 間 の 救 急 状 況

区 分		計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令 和 2 年	出場件数	2,314	3	-	5	274	27	3	368	10	22	1,496	106
	(内 不搬送)	( 155 )	1	-	5	19	-	-	19	2	5	97	7
	搬送人員	2,194	2	-	-	287	28	3	350	8	17	1,400	99
令 和 3 年	出場件数	2,636	3	-	4	249	25	4	439	4	30	1,723	155
	(内 不搬送)	( 149 )	-	-	3	25	-	-	18	1	4	90	8
	搬送人員	2,508	4	-	1	243	25	4	421	3	26	1,634	147
令 和 4 年	出場件数	3,051	2	-	5	293	15	8	470	11	27	1,979	241
	(内 不搬送)	( 155 )	1	-	3	26	1	-	23	-	2	90	9
	搬送人員	2,927	1	-	2	290	14	8	450	12	25	1,892	233
令 和 5 年	出場件数	3,260	1	-	5	277	20	2	503	7	36	2,207	202
	(内 不搬送)	( 164 )	-	-	3	24	-	-	11	-	7	101	18
	搬送人員	3,130	1	-	2	284	20	2	492	7	29	2,109	184
令 和 6 年	出場件数	3,293	3	-	8	310	22	9	533	10	19	2,225	154
	(内 不搬送)	( 172 )	1	-	5	28	-	-	19	1	6	92	20
	搬送人員	3,163	2	-	3	319	22	9	517	9	13	2,135	134

## 救 命 講 習 受 講 状 況

年	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年			過去5年間の合計		
	普 及 等	上 普 級 通	ジュ ニア 入 門	普 及 等	上 普 級 通	ジュ ニア 入 門	普 及 等	上 普 級 通	ジュ ニア 入 門	普 及 等	上 普 級 通	ジュ ニア 入 門	普 及 等	上 普 級 通	ジュ ニア 入 門	普 及 等	上 普 級 通	ジュ ニア 入 門
講習回数	-	2	3	-	-	-	5	2	36	4	15	47	1	13	67	10	32	153
受講人数	-	39	56	-	-	-	34	27	721	10	205	1,186	4	178	1,473	48	449	3,436

普及等…応急手当普及員講習Ⅰ、応急手当普及員(指導員)再講習

普通・上級…普通救命講習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)、上級救命講習

入門・ジュニア…救命入門コース(平成25年より新設)、ジュニア救命講習(平成26年より新設)

# 救助統計



## 柱上感電救助対応訓練

協力: 中部電力パワーグリッド(株)各務原営業所

## 救助活動概要

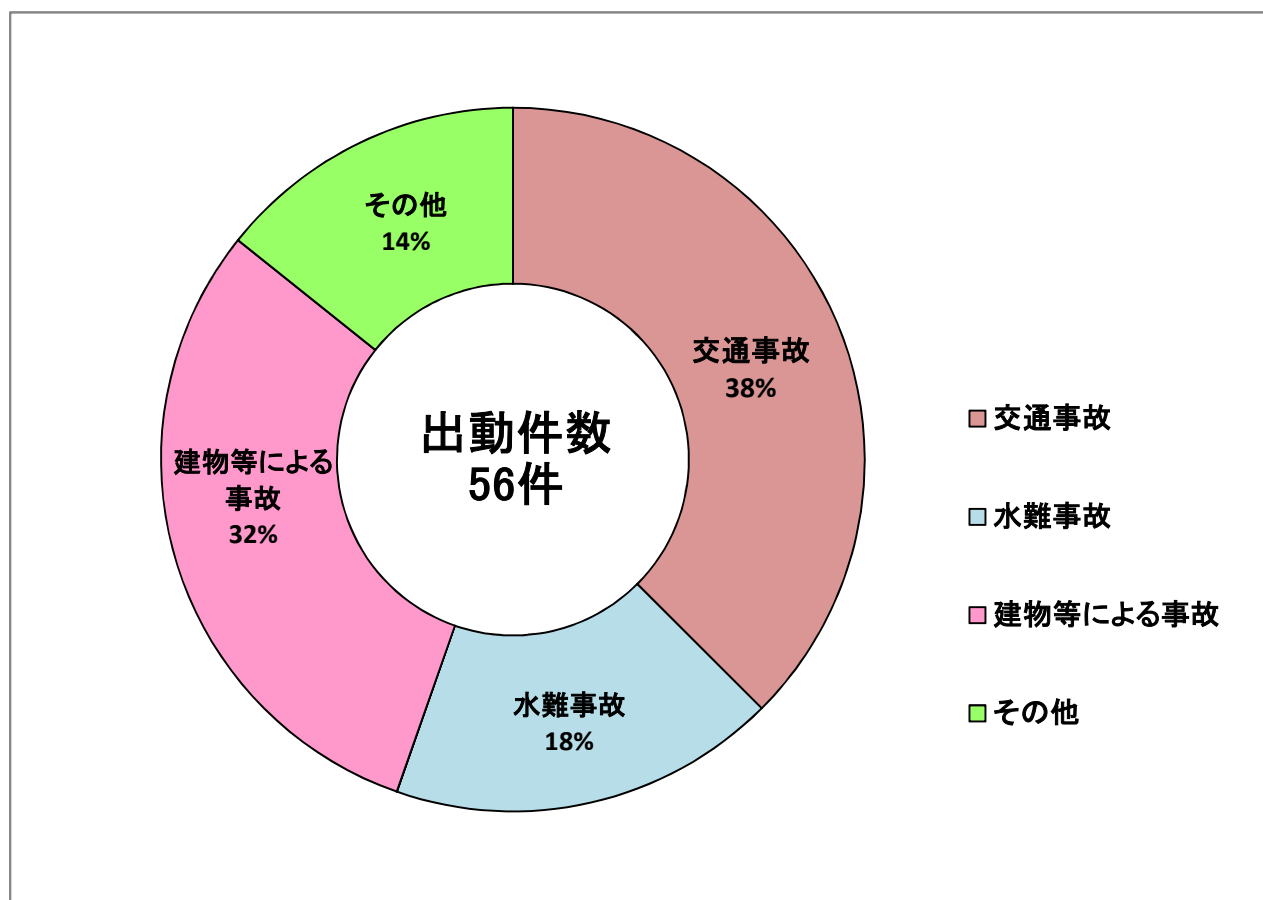
令和6年中における救助出動件数は56件、救助人数は29人でした。前年と比較すると出動件数は7件増加、救助人数は2人減少しました。

出動件数を事故種別で見ると、交通事故21件、水難事故10件、建物等による事故17件などとなっています。

## 救助件数等状況

区分	計	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
		建物	建物以外								
出動件数	56	3	-	21	10	-	1	17	-	-	4
活動件数	32	3	-	8	7	-	1	9	-	-	4
救助人数	29	-	-	10	5	-	1	9	-	-	4

## 事故種別救助出動件数の割合



## 事故種別発生場所別活動件数

区 分		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
		32	3	-	8	7	-	1	9	-	-	4
屋 内	住 居	12	3						8			1
	そ の 他 の 屋 内	2						1	1			
屋 外	道 高速自動車国道	1			1							
	路 其 他 の 道 路	5			5							
	水 内 水 面	8				7						1
	面 外 水 面	-										
	そ の 他 の 屋 外	4			2							2

## 事故種別発生場所別救助人数

区 分		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
		29	-	-	10	5	-	1	9	-	-	4
屋 内	住 居	9							8			1
	そ の 他 の 屋 内	2						1	1			
屋 外	道 高速自動車国道	1			1							
	路 其 他 の 道 路	7			7							
	水 内 水 面	6				5						1
	面 外 水 面	-										
	そ の 他 の 屋 外	4			2							2

## 区域別出動件数

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	56	5	4	4	9	-	6	9	4	2	4	3	6
足近町	1												1
小熊町	5	2			1			1					1
新生町	1												1
正木町	9	1	1		2		2			1		1	1
竹鼻町	11	1					3	3	4				
福寿町	2			1									1
江吉良町	5		1		2			1			1		
舟橋町	4		1		1			1				1	
堀津町	3				1			1			1		
上中町	3			2						1			
下中町	4						1				1	1	1
桑原町	7	1		1	2			2			1		
市 外	1		1										

## 5 年間の救助状況

区 分	計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
令和2年	出動件数	46	1	21	5		2	11			6
	活動件数	25	1	9	5		1	6			3
	救助人数	23		9	4		1	6			3
令和3年	出動件数	38	2	17	4			13	1		1
	活動件数	20	2	8	1			8	1		
	救助人数	19	2	9				7	1		
令和4年	出動件数	48	2	27	3		1	13			2
	活動件数	31	2	16	2			10			1
	救助人数	32	2	17	2			10			1
令和5年	出動件数	49		20	4			15			10
	活動件数	29		9	4			10			6
	救助人数	31		10	3			12			6
令和6年	出動件数	56	3	21	10		1	17			4
	活動件数	32	3	8	7		1	9			4
	救助人数	29		10	5		1	9			4

## 救助活動のための機械器具等保有状況

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付はしご	1	破 壊 用 器 具	万能斧	17	
	三連はしご	6		ハンマー	7	
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	1		携帯用コンクリート破壊器具	1	
	空気式救助マット	1		削岩機	1	
	救命索発射銃	1		ハンマドリル	1	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	8		器 具 測 定 用	複合ガス検知器	3
	平坦架	1			放射線測定器	11
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ	1	呼 吸 保 護 用 器 具	空気呼吸器	28	
	可搬ウインチ	2		防塵マスク	25	
	マンホール救助器具一式	1		送風機	1	
	救助用簡易起重機	1	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	5	
	マット型空気ジャッキ一式	1		耐電衣	2	
	大型油圧スプレッダー	1		耐電ズボン	2	
	大型油圧ラムシリンダー	1		耐電長靴	2	
切 断 用 器 具	エンジンカッター	5	検 索 用 器 具	簡易画像探査機	1	
	チェーンソー	2	そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	11	
	鉄線カッター	8		携帯投光器	19	
	空気鋸	1		携帯拡声器	9	
	大型油圧カッター	1		応急処置用セット	2	
	空気切断機	1		緩降機	1	
				発電機	9	
水 難 救 助 用 器 具	救命ボート	4	高 度 救 助 用 器 具	熱画像直視装置	2	
	船外機	3		山 岳 救 助 器 具	ハーフSKEDストレッチャー	4
	水中無線機一式	1	SKEDストレッチャー		1	
	潜水器具	8	バスケット型担架		1	
	救命胴衣	42	NBC保 護 用 器 具		簡易式化学防護服	11
	救命浮環	5				

# 通信・気象



高機能消防指令システム

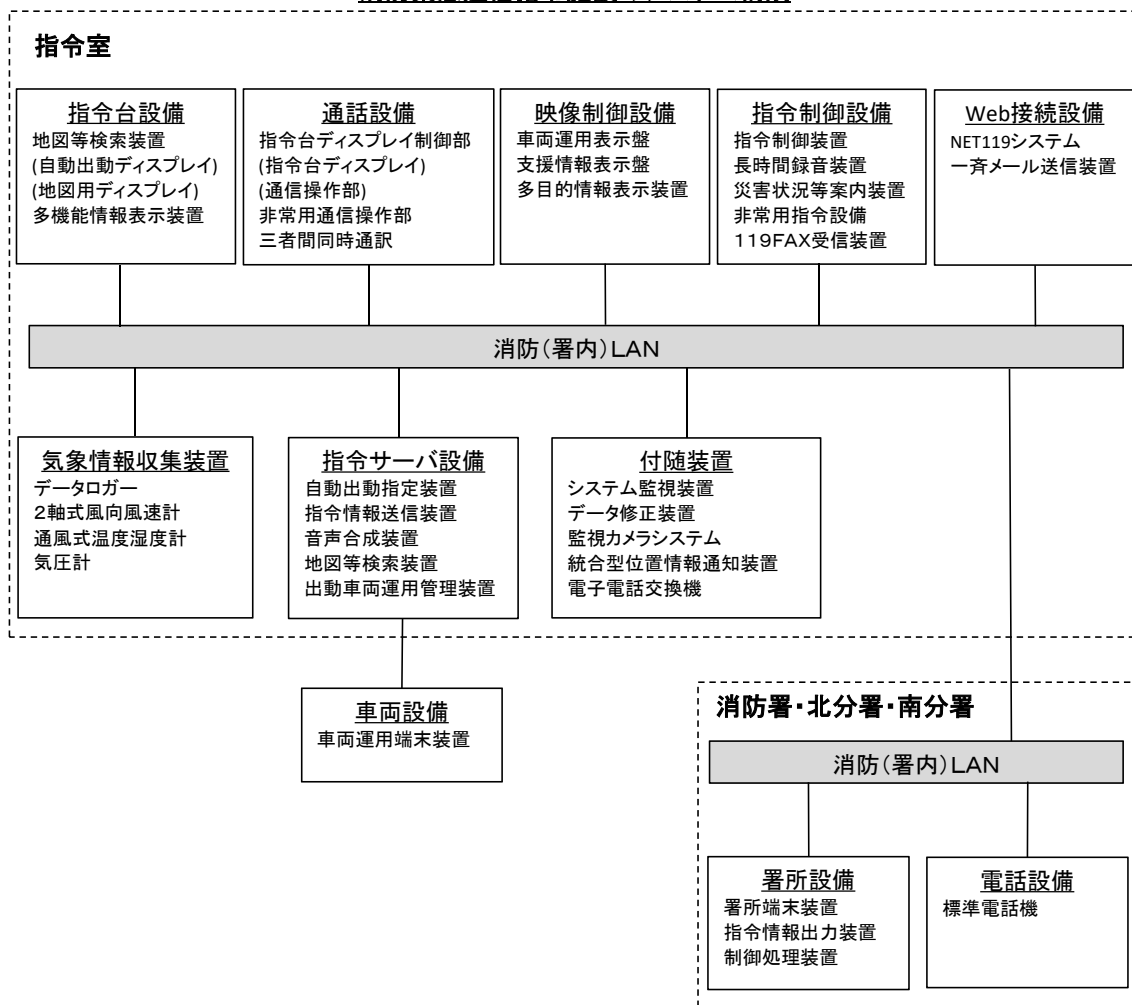
(平成 28 年 3 月 16 日運用開始)

## 通信指令施設

通信指令施設は、迅速・確実な情報収集や災害活動を支援する消防業務の中核的な役割を果たしています。

通信回線は、市民からの119番通報、救急・災害医療情報システムによる情報収集、デジタル無線等による災害情報伝達や携帯電話などで構成されています。

### 消防緊急通信指令施設のシステム構成



### 無線設備の現況

	基地局		陸上移動局						受令機	
	デジタル		デジタル				アナログ		デジタル	
	活動波 主運用波	統制波	車載用	可搬用	携帯用	指令台用	車載用	携帯用	車載用	携帯用
定格出力 (W)	5	3.2	10	10	5	5	10	5	/	/
局数	1		21	3	23	2	4	2	23	176

### 通信設備の現況

種別	計	本部・消防署	北分署	南分署
119番専用回線(固定・IP)	4	4		
119番専用回線(携帯電話)	4	4		
119番専用回線(衛星回線)	1	1		
中日本高速道路(株)専用回線	1	1		
加入電話回線	5	3	1	1
発信専用回線	3	3		
指令台発信専用回線 (三者間同時通訳・連絡用)	2	2		
広域イーサネット (指令・庁内電話・放送用)	3	1	1	1
庁内電話機	45	29	9	7
FAX専用回線	3	1	1	1
携帯電話	7	5	1	1
衛星携帯電話	1	1		
災害情報案内	2	2		
NET119システム	1	1		

### 月別気象状況

区分	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
平均風速 (m/s)	2.5	2.4	2.9	2.8	2.6	3.2	2.5	2.0	2.7	2.0	1.9	2.3	2.3	
瞬間最大 風速(m/s)	24.1	18.0	18.2	20.7	20.1	24.1	17.0	23.1	16.5	14.6	14.1	17.5	18.0	
湿度 (%)	平均	74.9	76.8	73.4	71.1	71.6	72.1	75.1	77.5	75.3	77.6	79.0	73.0	75.7
	最低	19.7	35.0	33.8	20.8	19.7	19.7	26.9	39.4	34.7	41.6	33.0	28.3	34.1
気温 (℃)	平均	17.3	5.4	7.4	8.1	17.0	18.9	23.5	28.7	29.7	27.8	20.8	13.9	6.4
	最高	38.1	15.5	19.0	22.4	29.2	29.5	33.4	37.8	38.1	37.1	31.2	24.1	17.8
	最低	-2.3	-2.3	0.0	-1.2	5.7	8.4	15.7	21.7	22.7	19.7	11.8	4.6	-0.6

## 119番通報件数

区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		4,350	373	369	358	356	302	340	383	366	333	365	367	438	
回線別災害等通報件数	火災	小計	66	4	4	3	7	2	10	3	3	2	8	14	6
		NTT固定電話	12				1					2		9	
		IP 電話	19	2					5		1		6		5
		携帯電話・PHS	35	2	4	3	6	2	5	3	2		2	5	1
		その他※1	-												
	救急	小計	3,363	358	281	257	255	234	251	298	295	245	257	262	370
		NTT固定電話	482	80	38	29	36	38	31	38	37	29	41	35	50
		IP 電話	946	101	83	98	59	65	80	86	76	64	67	78	89
		携帯電話・PHS	1,894	172	158	130	158	129	136	172	171	148	146	147	227
		その他※1	41	5	2		2	2	4	2	11	4	3	2	4
	救助	小計	46	4	4	4	7	1	7	9	2	-	5	-	3
		NTT固定電話	15	1	2	1	4	1	2	2	1		1		
		IP 電話	5		1					1			2		1
		携帯電話・PHS	26	3	1	3	3		5	6	1		2		2
		その他	-												
	上記以外の災害	小計	103	7	8	7	5	13	10	10	7	14	8	5	9
		NTT固定電話	20	4	1	3			2	1	1	1		2	5
		IP 電話	2					1				1			
		携帯電話・PHS	71	3	7	4	5	11	8	2	5	12	7	3	4
		その他※1	10					1		7	1		1		
いたずら	小計	9	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	4	-	
	NTT固定電話	4											4		
	IP 電話	-													
	携帯電話・PHS	5						1		4					
間違い	小計	230	-	26	23	21	19	18	21	14	20	23	25	20	
	NTT固定電話	37		2	4	4	3	6	5	1	3	3	3	3	
	IP 電話	17		1	3		2	1	1		2	1	1	5	
	携帯電話・PHS	176		23	16	17	14	11	15	13	15	19	21	12	
その他	小計	533	-	46	64	61	33	43	42	41	52	64	57	30	
	回線試験	341		33	43	40	23	23	26	35	42	35	20	21	
	通報訓練	192		13	21	21	10	20	16	6	10	29	37	9	
	その他	-													

※1: 駆けつけ、公衆電話、NET119、FAX119、名神専用、消防覚知

# 消防団



「消防感謝祭」第73回岐阜県消防操法大会

## 消防団の現況

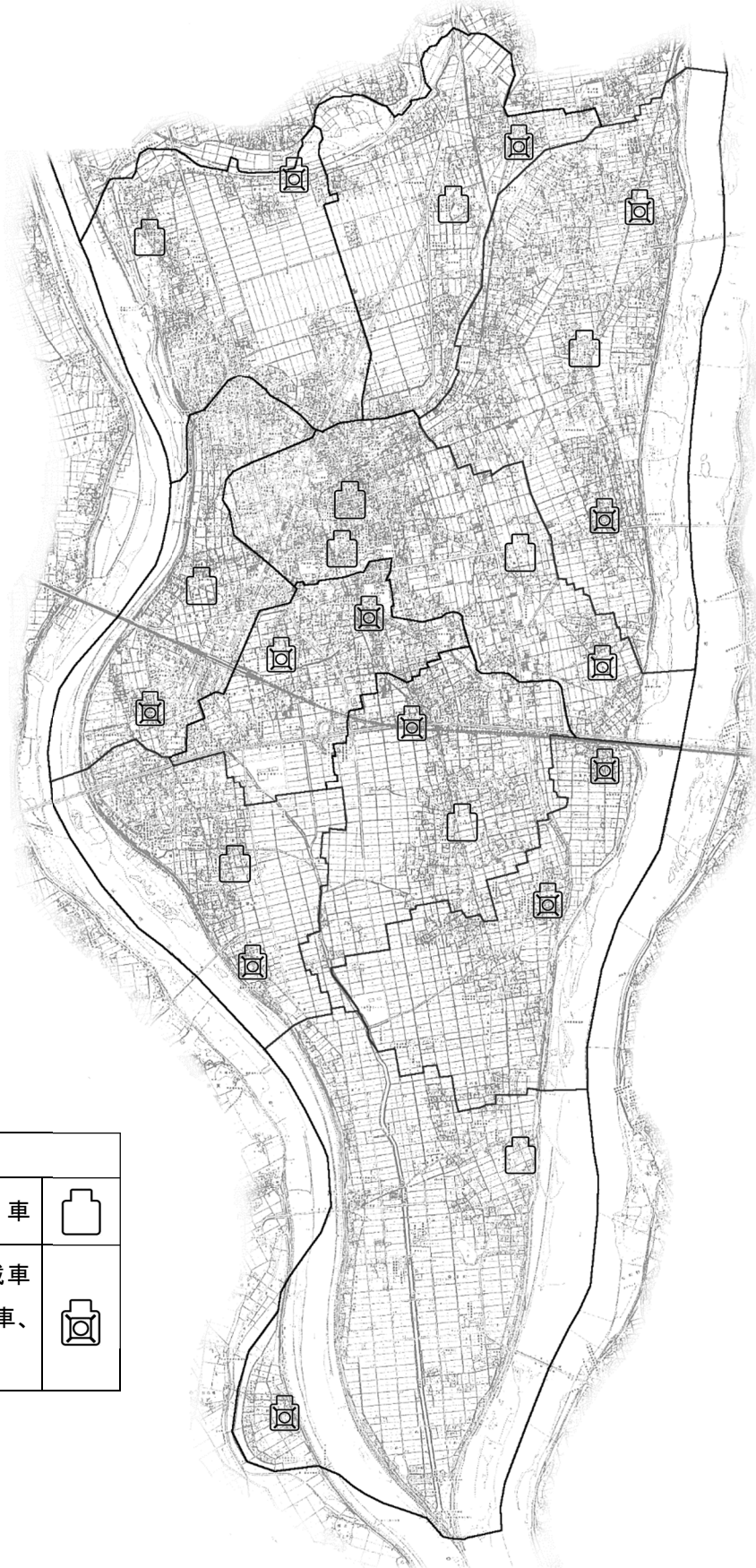
消防団は、地域を守る使命に基づき18歳以上の志操堅固で身体強健な者によって組織されています。災害が大規模化・複雑化する今日、地域に密着した消防団の特性を生かし、火災や地震等の災害出動はもとより、消防訓練や防火広報を実施し、地域防災の中核的存在として安全な地域づくりに貢献しています。

### 消 防 団 現 勢

区 分	人 員		機 械			
	定 員	現 在 員	計	消 防 ポンプ 自 動 車	小型動力ポンプ 付普通積載車	小型動力ポンプ 付軽積載車
計	420	395	23	10	3	10
団 本 部	10	10	-			
市 職 員	20	16	-			
火災予防啓発	20	19	-			
大規模災害	66	46	-			
足 近 分 団	27	27	2	1		1
小 熊 分 団	27	27	2	1		1
正 木 分 団	34	34	3	1	※ 1	1
竹 鼻 第 一 分 団	27	27	2	2		
竹 鼻 第 二 分 団	27	27	2	1		1
福 寿 分 団	27	27	2	1		1
江 吉 良 分 団	27	27	2		1	1
堀 津 分 団	27	27	2	1		1
上 中 分 団	27	27	2	1		1
下 中 分 団	27	27	2		1	1
桑 原 分 団	27	27	2	1		1

※災害対応資機材搭載小型動力ポンプ積載車(以下「多機能車」という。)を含む。

# 消防団車両の配置図



凡 例	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車 ※ 普 通 積 載 車、 軽 積 載 車、 及 び 多 機 能 車	

## 消 防 団 車 両 一 覧 表

区 分		年式	登 録 番 号	車 名	型 式 ポンプ級別	ポ ン プ 製 作 所 名	経 過 年 数
足近分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2000	岐阜800さ 2444	い す ゞ	CD-I・A2級	日 本 機 械	24
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2018	岐阜880あ 2105	ダ イ ハ ツ	B2級	ト ー ハ ツ	6
小熊分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2000	岐阜800さ 4814	三 菱	CD-I・A2級	日 本 ド ラ イ ヴ ェ ミ カ ル	24
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2014	岐阜880あ 1366	ダ イ ハ ツ	B2級	シ バ ウ ラ	10
正木分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2020	岐阜800そ 4167	日 野	CD-I・A2級	森 田 ポ ン プ	4
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2010	岐阜880あ 762	ス バ ル	B3級	ラ ビ ッ ト	14
〃	多 機 能 車	2010	岐阜800せ 2407	い す ゞ	B2級	ト ー ハ ツ	14
竹鼻第一分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2002	岐阜800さ 8723	三 菱	CD-I・A2級	日 本 機 械	22
〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2003	岐阜800す 819	日 野	CD-I・A2級	日 本 機 械	21
竹鼻第二分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2017	岐阜800そ 126	日 野	CD-I・A2級	森 田 ポ ン プ	7
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2014	岐阜880あ 1365	ダ イ ハ ツ	B2級	シ バ ウ ラ	10
福寿分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2003	岐阜800す 820	日 野	CD-I・A2級	日 本 機 械	21
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2013	岐阜880あ 1207	ダ イ ハ ツ	B2級	ト ー ハ ツ	11
江吉良分団	小 型 動 力 ポ ン プ 付 普 通 積 載 車	2018	岐阜800そ 2037	ニ ッ サ ン	B2級	ト ー ハ ツ	6
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2018	岐阜880あ 2106	ダ イ ハ ツ	B2級	ト ー ハ ツ	6
堀津分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2002	岐阜800さ 8724	三 菱	CD-I・A2級	日 本 機 械	22
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2019	岐阜880あ 2238	ス ズ キ	B2級	シ バ ウ ラ	5
上中分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2001	岐阜800さ 6982	ト ヨ タ	CD-I・A2級	長 野 ポ ン プ	23
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2013	岐阜880あ 1215	ス ズ キ	B2級	シ バ ウ ラ	11
下中分団	小 型 動 力 ポ ン プ 付 普 通 積 載 車	2019	岐阜880そ 3150	ニ ッ サ ン	B2級	シ バ ウ ラ	5
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2019	岐阜880あ 2237	ス ズ キ	B2級	シ バ ウ ラ	5
桑原分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2017	岐阜880せ 9997	日 野	CD-I・A2級	森 田 ポ ン プ	7
〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	2010	岐阜880あ 763	ス バ ル	B3級	ラ ビ ッ ト	14

## 年 齡 別 消 防 団 員 数

区 分	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
現 在 員	349	1	4	16	11	22	37	258
19才	1							1
20才	2							2
21才	1							1
22才	2							2
23才	1							1
24才	1							1
25才	3							3
26才	3							3
27才	1							1
28才	4							4
29才	2							2
30才	6						1	5
31才	3							3
32才	2							2
33才	3							3
34才	6							6
35才	8							8
36才	9						2	7
37才	14						3	11
38才	8							8
39才	12			1				11
40才	24					4	3	17
41才	21			1		1	4	15
42才	18					1	2	15
43才	13						3	10
44才	18				1		2	15
45才	21				2		5	14
46才	20				3	3	3	11
47才	17				1	3	1	12
48才	11			1		2	2	6
49才	9				1	1		7
50才	18		1	2	1	2	1	11
51才	10			2	1	2		5
52才	6			1				5
53才	13		1	2		1	2	7
54才	6			2	1			3
55才	5			1			2	2
56才	3					1		2
57才	5							5
58才	2		1	1				
59才	4							4
60才	3		1			1		1
61才	4	1						3
62才	1							1
63才	2			1			1	
64才	1			1				
65才	2							2
平均年齢	43.7	61.0	55.3	52.3	47.5	47.2	44.1	42.4

※大規模災害消防団員を除く

## 在職年数別消防団員数

区 分	計	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
			10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
現在員	349	166	102	50	18	7	4	2
団本部	45	15	9	11	6	1	2	1
足近分団	27	16	8	3	0	0	0	0
小熊分団	27	17	5	2	2	1	0	0
正木分団	34	17	12	3	2	0	0	0
竹鼻第一分団	27	11	6	3	4	2	1	0
竹鼻第二分団	27	19	5	2	1	0	0	0
福寿分団	27	10	9	7	0	1	0	0
江吉良分団	27	14	10	3	0	0	0	0
堀津分団	27	17	10	0	0	0	0	0
上中分団	27	10	12	5	0	0	0	0
下中分団	27	17	7	3	0	0	0	0
桑原分団	27	3	9	8	3	2	1	1

※大規模災害消防団員を除く

## 消 防 団 員 報 酬

区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年報酬額	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円

※大規模災害消防団員は6,000円

## 消 防 団 員 出 動 報 酬

区 分	火災等	訓練等	警戒
支給額	2時間毎2,000円 (2時間未満は、 2時間とみなす。)	1回 1,200円	1回 1,200円

※大規模災害消防団員も同額

## 消 防 団 員 退 職 報 償 金

(単位:千円)

階 級	勤 務 年 数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	239	344	459	594	779	979
副 団 長	229	329	429	534	709	909
分 団 長	219	318	413	513	659	849
副分団長	214	303	388	478	624	809
部長及び班長	204	283	358	438	564	734
団 員	200	264	334	409	519	689

※大規模災害消防団員は対象外

## 消防団員の入・退団の推移

区 分	定 員	実 員	入 団	退 団
平成27年	420	397	108	76
平成28年	420	407	89	79
平成29年	420	396	81	92
平成30年	420	392	80	84
令和元年	420	393	66	65
令和2年	420	394	76	75
令和3年	420	397	51	48
令和4年	420	400	59	56
令和5年	420	383	90	107
令和6年	420	395	82	70

## 消防団員公務災害発生件数の推移

区 分	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
平成30年	2							2
令和元年	-							
令和2年	-							
令和3年	-							
令和4年	3						2	1
令和5年	1							1
令和6年	1							1

## 消防団員出動状況

項 目	回 数	延 人 員
合 計	239	6,973
火 災	9	356
風 水 害 等 の 災 害	-	-
訓 練 等	167	5,931
広 報	22	66
火災予防啓発活動	21	55
警 戒 活 動	5	360
会 議	15	205
出 初 式	-	-
特 別 点 検	-	-

※令和6年消防出初式は、能登半島地震発生のため中止

※令和6年度羽島消防署・羽島市消防団合同特別点検は、雨天のため中止